

令和 4 年度

事業報告

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

はじめに

平素から県民の皆様には赤十字事業の推進につきまして、温かいご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

令和4年度におきましては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、支部事業を展開することとなりました。

広島県支部では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命達成のため、感染防止対策を講じた上で災害救護活動や県民の安全と健康を守る救急法等の講習普及事業、青少年赤十字事業等、幅広い事業を行ってまいりました。

まず、災害救護活動では、救護員を県内外の防災訓練や研修に派遣したほか、災害救援車両を整備する等、災害救護体制の充実・強化を行いました。

講習普及事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、オンラインでの講習を取り入れ、一部の実技を制限しながら、救命・応急手当を学ぶ救急法、水の事故防止や溺れた人の救助を学ぶ水上安全法等の講習普及に努め、昨年度を上回る講習実績を達成しました。

赤十字ボランティア事業では、勤労青年、大学生等の若い世代のボランティア活動推進に向けた検討を進めており、青少年赤十字との連動を意識した取り組みとして、中高生が参加できる事業、研修を開催しました。

青少年赤十字事業では、青少年赤十字創設100周年を迎え、園児・児童・生徒のより一層の健康と安全、国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的とした「100万羽おりづるプロジェクト」を実施しました。

血液事業では、コロナ禍で献血への協力が得にくい状況の中、SNSを活用したタイムリーな広報の強化や献血WEB会員の増強を行うことで献血会場における献血者の密集や密接を回避するための献血予約の推進強化を図り、安定的に輸血用血液製剤の確保・供給を行いました。

医療事業では、新型コロナウイルスの専用病床を継続的に確保し、公的医療機関として地域医療体制を守るため、その使命と役割を果たしてまいりました。

これらの事業が実施できましたのは、県民並びに赤十字有功会等の赤十字会員、県内に組織された34の赤十字奉仕団をはじめとする多くのボランティア、地区・分区等における町内会・自治会等の皆様方による力強いご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。

つきましては、引き続き皆様方の大きなお力添えを必要としておりますので、今後とも赤十字事業に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社広島県支部

支部長 湯 崎 英 彦

も く じ

I 広島県支部の運営

| | | |
|---|------|---|
| 1 | 組織図 | 1 |
| 2 | 役員 | 2 |
| 3 | 評議員会 | 3 |

II 事業の実施状況

| | | |
|----|-----------|----|
| 1 | 災害救護活動 | 4 |
| 2 | 講習普及事業 | 12 |
| 3 | 赤十字ボランティア | 21 |
| 4 | 青少年赤十字 | 25 |
| 5 | 国際活動 | 33 |
| 6 | 赤十字思想の普及 | 36 |
| 7 | 会員と活動資金 | 39 |
| 8 | 看護師等養成事業 | 46 |
| 9 | 血液事業 | 47 |
| 10 | 医療事業 | 48 |

III 決算状況

| | | |
|---|----------|----|
| 1 | 一般会計 | 50 |
| 2 | 医療施設特別会計 | 51 |

IV 参考資料

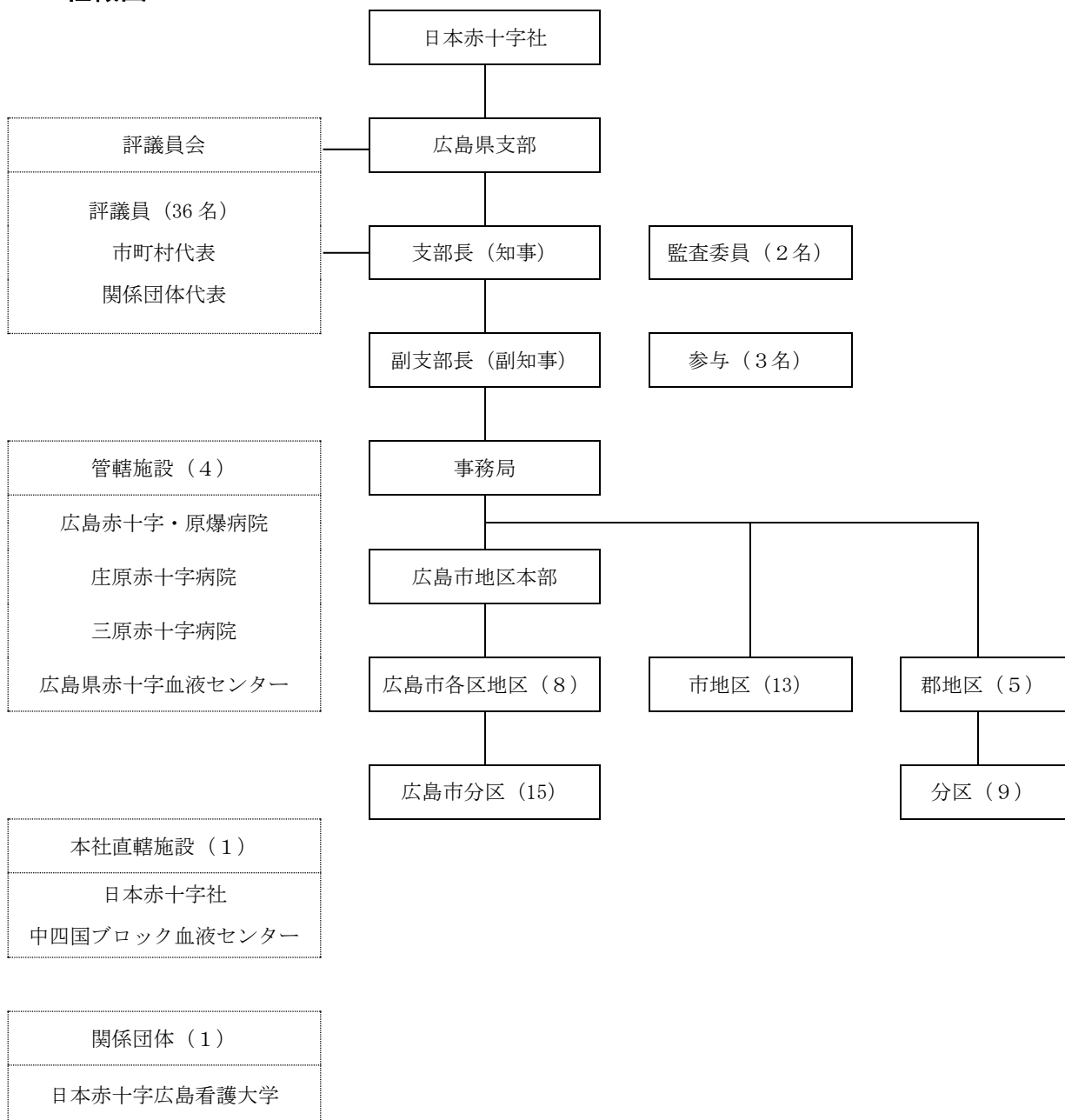
| | | |
|---|---------|----|
| 1 | 赤十字施設一覧 | 54 |
| 2 | 地区・分区一覧 | 55 |

I 広島県支部の運営

支部の運営は、各地区から選出された36名の評議員から構成される評議員会において、役員を選出、事業計画や予算、決算等の重要事項を審議・決定し、県内の各市区町に設置した地区本部・各地区・分区の協力を得ながら進めています。

また、平素の事業については、事務局において総務課・組織振興課・事業推進課の3課による調整、協力のもと各赤十字施設、地区・分区、赤十字奉仕団等と連携して実施しています。

1 組織図



2 役員

(1) 支部長 湯崎英彦 (広島県知事)

(2) 副支部長 田邊昌彦 (広島県副知事)

(3) 監査委員 山本一隆・井林孝二

(4) 参 与 平川理恵・木下栄作・山口浩央

(5) 評議員

■評議員一覧

| 選出地区 | | 氏名 | 選出地区 | 氏名 |
|------|-------|--------|-------|-------|
| 広島市 | 地区本部 | 前 健一 | 府中市 | 村上 明雄 |
| | | 山本 直樹 | 三次市 | 堂本 昌二 |
| | | 山田 豊子 | 庄原市 | 大原 直樹 |
| | 中区 | 薬師地 直樹 | 大竹市 | 太田 勲男 |
| | 東区 | 市岡 泰三 | 東広島市 | 多田 稔 |
| | 南区 | 西本 和弘 | 廿日市市 | 堀野 和則 |
| | 西区 | 戸田 祐二 | 安芸高田市 | 米村 公男 |
| | 安佐南区 | 植竹 良子 | 江田島市 | 土手 三生 |
| | 安佐北区 | 萬ヶ原 伸二 | 安芸郡 | 吉田 隆行 |
| | 安芸区 | 長光 信治 | 山県郡 | 箕野 博司 |
| | 佐伯区 | 佐々木 尚行 | 豊田郡 | 高田 幸典 |
| 呉市 | 阿原 亨 | 世羅郡 | 奥田 正和 | |
| | 佐藤 光子 | 神石郡 | 入江 嘉則 | |
| 竹原市 | 新谷 昭夫 | 支部長選出 | 中本 隆志 | |
| 三原市 | 新地 弘幸 | | 松村 誠 | |
| 尾道市 | 澤田 昌文 | | 宗兼 邦生 | |
| 福山市 | 中島 智治 | | 本永 史郎 | |
| | 赤松 治美 | | 竹下 純子 | |

3 評議員会

(1) 第1回評議員会（令和4年6月8日）

次の議案を審議し承認されました。

| | |
|----|----------------------------------|
| 議案 | 令和3年度一般会計歳入歳出決算並びに特別会計歳入歳出決算について |
| 報告 | 令和3年度広島県赤十字血液センター事業報告について |

(2) 第2回評議員会

次の議案を文書審議し承認されました。

| | |
|-------|---------------------------|
| 第1号議案 | 令和5年度日本赤十字社広島県支部事業計画について |
| 第2号議案 | 令和5年度歳入歳出予算概算書について |
| 第3号議案 | 令和5年度広島県赤十字血液センター事業計画について |
| 第4号議案 | 代議員の選出について |

II 事業の実施状況

1 災害救護活動

日本赤十字社は、日本赤十字社法及び災害対策基本法や災害救助法に定める災害救護団体として災害救護活動を実施しています。

(1) 救護訓練・研修会

ア 救護訓練

迅速・的確な災害救護活動を実施できるよう、広島県内で行われた救助合同訓練に参加し、大規模災害の発生に備え、関係機関との連携強化、対処能力の向上を図りました。

■ 救護訓練参加状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者（人） |
|--------------------------|----------|-----|--------|
| 広島県・広島市総合防災訓練 | 8月30日 | 広島市 | 18 |
| 日本赤十字社第5ブロック 合同災害救護訓練 | 11月5日～6日 | 広島市 | 12 |
| 広島県保健医療福祉調整本部訓練 | 3月13日 | 広島市 | 5 |



救護所内でのトリアージ



合同指揮所で傷病者情報を救護所から収集

イ 救護研修会

救護員やボランティア等のスキルアップを図るため、各種研修会の実施や他団体主催の研修会に参加しました。



救護員基礎研修会



救護員実践研修会（支部主催）

■救護研修会実施・参加状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者 (人) |
|---------------------------------|-------------|------------------|------------|
| 救護員基礎研修会 | 6月11日 | 広島赤十字・原爆病院 | 34 |
| 救護員基礎研修会 | 5月20日 | 広島県支部 庄原赤十字病院 | 23 |
| 広島県 J-SPEED 研修会 (保健医療福祉調整本部) | 7月1日 | 広島県支部 (WEB) | 1 |
| 広島県 J-SPEED 研修会 | 7月9日 | 広島県支部 (WEB) | 28 |
| 日赤災害医療コーディネート研修会 (指導スタッフ研修会) | 9月10日～11日 | 本社 | 2 |
| 都道府県災害医療コーディネート研修 | 10月1日～12月4日 | 東京都 他 | 1 |
| こころのケア指導者養成研修会 | 11月16日～17日 | 本社 | 1 |
| こころのケア要員研修会 | 11月19日 | 三原赤十字病院 | 8 |
| 広島県 DMAT 研修会 | 1月14日 | 県立広島病院 | 4 |
| 救護員実践研修会 | 1月19日～20日 | 広島県支部 | 45 |
| 日赤災害医療コーディネート研修会 | 1月21日～22日 | 本社 | 1 |
| こころのケア要員研修会 | 2月13日 | 広島赤十字・原爆病院 | 30 |
| 臨時救護所設営訓練 | 2月20日 | 広島県支部 | 16 |

(2) 救護班等の編成

災害が発生し、医療救護の必要が生じた際に直ちに活動ができるよう、県内3カ所の赤十字病院に救護班10班を常備しています。救護班は、1班あたり医師(1人)・看護師長(1人)・看護師(2人)・薬剤師(1人)・主事(2人)を基準として編成し、災害の規模に応じて救護員を増減し被災地へ派遣しています。これに加え、災害対策本部要員(50人)、血液供給要員(3人)を登録し、非常時の様々な状況に対応できる体制としています。

そのほか、日赤災害医療コーディネートチームを4チーム(26人)編成しています。

救護員に対しては、救護員研修会実施要綱に基づき、系統立てた研修会を開催しており、継続的に知識・技術の研鑽を図っています。

また、この救護班のほか、急性期の災害に即応すべく災害派遣医療チーム(DMAT)隊員が県内各赤十字病院に在籍しており、県内外で発生する災害派遣に備えています。

■救護班等編成状況

| 施設名 | 救護 班数 | 医師 (人) | 看護師長 (人) | 看護師 (人) | 薬剤師 (人) | 主事 (人) | 合計 (人) |
|------------|----------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 広島赤十字・原爆病院 | 6班 | 6 | 6 | 12 | 6 | 12 | 42 |
| 庄原赤十字病院 | 2班 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 14 |
| 三原赤十字病院 | 2班 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 14 |
| 合計 | 10班 | 10 | 10 | 20 | 10 | 20 | 70 |

■災害対策本部要員、血液供給要員登録状況

| 施設名 | 災害対策本部要員(人) | 血液供給要員(人) | 合計(人) |
|--------------|-------------|-----------|-------|
| 広島県支部 | 21 | — | 21 |
| 広島赤十字・原爆病院 | 15 | — | 15 |
| 庄原赤十字病院 | 3 | — | 3 |
| 三原赤十字病院 | 6 | — | 6 |
| 広島県赤十字血液センター | 5 | 3 | 8 |
| 合計 | 50 | 3 | 53 |

■日赤災害医療コーディネートチーム編成状況

| 施設名 | 医師(人) | 看護師(人) | 薬剤師(人) | 事務職員(人) | 合計(人) |
|--------------|-------|--------|--------|---------|-------|
| 広島赤十字・原爆病院 | 5 | 3 | 1 | 4 | 13 |
| 庄原赤十字病院 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 三原赤十字病院 | 2 | 1 | 0 | 3 | 6 |
| 広島県赤十字血液センター | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 広島県支部 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | 8 | 5 | 1 | 12 | 26 |

■災害派遣医療チーム(DMAT) 隊員登録状況

| 施設名 | チーム数 | 医師(人) | 看護師(人) | 業務調整員(人) | 合計(人) |
|------------|------|-------|--------|----------|-------|
| 広島赤十字・原爆病院 | 2チーム | 4 | 3 | 4 | 11 |
| 庄原赤十字病院 | 1チーム | 1 | 3 | 2 | 6 |
| 三原赤十字病院 | 1チーム | 1 | 3 | 3 | 7 |
| 合計 | 4チーム | 6 | 9 | 9 | 24 |



広島市内赤十字施設の救護員

(3) 救援物資

災害に備え、毛布や緊急セット等の救援物資を備蓄しており、要請に応じて被災者へ配布しました。

■救援物資備蓄状況

| 備蓄場所 | 毛布 (枚) | 緊急セット (セット) | バスタオル (枚) | 安眠セット (セット) | タオルケット (枚) | 寝衣 (着) | |
|-------------|-----------|----------------|--------------|----------------|---------------|--------|-----|
| | | | | | | 大人 | 子供 |
| 広島県支部 | 3,619 | 3,091 | 361 | 528 | 559 | 41 | 265 |
| 庄原赤十字病院 | 550 | 300 | — | — | — | — | — |
| 三原赤十字病院 | 900 | 246 | — | — | — | — | — |
| 日本赤十字広島看護大学 | 996 | — | — | — | — | — | — |
| 地区・分区 | 556 | 201 | 448 | 306 | — | 187 | 155 |
| 合計 | 6,621 | 3,838 | 809 | 834 | 559 | 228 | 420 |



災害救助物資保管倉庫 (庄原赤十字病院)



災害救助物資保管倉庫 (三原赤十字病院)

■救援物資配布状況

| 被災世帯数 | 被災者数 (人) | 毛布 (枚) | 緊急セット (セット) | バスタオル (枚) | 安眠セット (セット) | タオルケット (枚) | 寝衣 (着) | |
|-------|----------|-----------|----------------|--------------|----------------|---------------|--------|----|
| | | | | | | | 大人 | 子供 |
| 49 | 118 | 106 | 52 | 106 | 100 | 0 | 97 | 2 |



緊急セット



安眠セット

(4) 救護資器材・車両の整備

日本赤十字社では、災害時において電気・水道等のライフラインが停止した場合に備え、必要とする電気・燃料・食糧等の物資はすべて自分たちで用意する自己完結型の救護活動を原則としており、各種の資器材を平時から備えています。

また、災害時に迅速かつ多様な活動ができるよう災害救援車両を各種整備しています。

■主要救護用資器材等保有状況

| 名称 | | 数量 | 名称 | 数量 | 名称 | 数量 |
|-------------------|-----|-----|----------|-----|---------------|------|
| 業務用無線 (150MHz) | 基地局 | 4局 | トリアージテント | 3張 | 担架 | 70台 |
| | 移動局 | 48局 | パイプテント | 12張 | 発電機 | 6台 |
| 業務用無線 (400MHz) | 基地局 | 1局 | ワンタッチテント | 3張 | 投光機 (ハルソ・LED) | 4台 |
| | 移動局 | 27局 | エアーテント | 5張 | 簡易トイレ | 25個 |
| アマチュア無線局 | | 1局 | ドラッシュテント | 3張 | 医療セット | 4セット |
| 衛星携帯電話 | | 7台 | リフトテント | 1張 | 折畳寝台 | 90台 |
| 折りたたみ式リヤカー | | 1台 | 炊出し釜 | 3個 | | |



支部が所有するテント群



災害救援車 (支部)

■災害救援車両

| 名称 | 数量 (台) |
|-----------------------|--------|
| 通信指令車 | 1 |
| d E R U (国内型緊急対応ユニット) | 1 |
| 救急車 | 4 |
| 災害救援車 (赤十字施設) | 9 |



車両等の引き渡し式（贈 協和鋳業株式会社）



三原赤十字病院に整備された災害救援車両

（５）地区・分区における災害救援車両や資器材の整備

地区・分区内での災害救護活動に使用するため、の災害救援車両を 1 台更新整備しました。

- ・福山市地区

■災害救援車両及び資器材整備状況

| 地区・分区名 | | 車両 (台) | テント (張) | 炊出し釜 (個) | 地区・分区名 | 車両 (台) | テント (張) | 炊出し釜 (個) |
|--------|------|-----------|------------|-------------|--------|-----------|------------|-------------|
| 広島市 | 中区 | 1 | — | 1 | 大竹市 | 1 | 2 | 3 |
| | 東区 | 1 | 1 | 1 | 東広島市 | 3 | 11 | 2 |
| | 南区 | 1 | 1 | 1 | 廿日市市 | 2 | 8 | 2 |
| | 西区 | 1 | 1 | 1 | 安芸高田市 | 1 | 19 | 2 |
| | 安佐南区 | — | — | 1 | 江田島市 | 1 | 6 | 1 |
| | 安佐北区 | 1 | 3 | 1 | 海田町 | 1 | 5 | 3 |
| | 安芸区 | 1 | 2 | 2 | 府中町 | — | 2 | 3 |
| | 佐伯区 | 1 | 3 | 3 | 熊野町 | — | 4 | 1 |
| 呉市 | 1 | 13 | 1 | 坂町 | 1 | 3 | 1 | |
| 竹原市 | 1 | 2 | 1 | 安芸太田町 | — | 6 | 2 | |
| 三原市 | 1 | 13 | 1 | 北広島町 | 2 | 7 | 1 | |
| 尾道市 | 1 | 10 | 6 | 大崎上島町 | 1 | 7 | 1 | |
| 福山市 | 1 | 9 | 4 | 世羅町 | 1 | 6 | 2 | |
| 府中市 | 1 | 2 | 1 | 神石高原町 | — | 6 | — | |
| 三次市 | 1 | 20 | 4 | 合計 | 29 | 183 | 54 | |
| 庄原市 | 1 | 11 | 1 | | | | | |

(6) 防災教育事業の実施

ア 赤十字防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業として、赤十字防災セミナーは地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることを目的として実施しています。

また、一部のセミナーについては、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点からWEBにより開催しました。

■赤十字防災セミナー実施状況

| カリキュラム | 内容 | 回数 (回) | 受講者 (人) |
|-----------------|--|-----------|------------|
| 災害への備え (講義) | 災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から平時の備えの重要性を理解する。 | 11 | 203 |
| 災害エスノ グラフィー | 大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。 | 4 | 58 |
| 災害図上訓練 (DIG) | 地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。 | 3 | 20 |



災害への備え（講義）



災害エスノグラフィー



災害図上訓練（DIG）

イ 防災教育事業指導者養成研修の開催

県内で防災や減災に関する知識を普及する指導者の育成が必要であることから、「赤十字防災セミナー」を運営する上で、十分な知識・技術を有することはもちろんのこと、事業運営に自発的・積極的に協力いただけることに主眼を置き、指導者養成研修を開催し、4名の指導者を養成しました。



日本赤十字社が行う防災教育事業についての講義

(7) 国内義援金の受付

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

■義援金受付状況

| 名称 | 受付期間 | 件数 (件) | 金額 (円) |
|--------------------------|--------------------|-----------|-----------|
| 平成 30 年 7 月豪雨災害義援金 (広島県) | 4 月 1 日～6 月 30 日 | 118 | 6,876,022 |
| 令和 2 年 7 月豪雨災害義援金 | 4 月 1 日～9 月 30 日 | 17 | 102,992 |
| 令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金 | 4 月 1 日～6 月 30 日 | 87 | 974,241 |
| 令和 4 年 7 月大雨災害義援金 | 8 月 8 日～10 月 31 日 | 53 | 617,976 |
| 令和 4 年 8 月 3 日からの大雨災害義援金 | 8 月 12 日～3 月 31 日 | 113 | 3,686,105 |
| 令和 4 年台風第 15 号災害義援金 | 9 月 29 日～12 月 28 日 | 38 | 120,933 |

2 講習普及事業

地域住民の健康と安全を守る救急法等の講習を一般の方に広く普及するため、地域をはじめ企業や学校等に対して実施しました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、受講者及び指導員の安全を確保するため、人工呼吸や人と人が接触する実技、3つの密が避けられないグループワーク等は実施できませんでしたが、実施できない内容については動画等を用いて説明を行いました。



感染防止対策を講じながらの実技演習

【主な感染防止対策（各講習共通）】

- ① 事前に受講者及び指導員の健康状態をチェックする。
- ② 受講者と受講者の間隔を2m程度確保できる広さの会場であること。
- ③ 受講者間での講習資器材（訓練人形やAED等）の共有はせず、一人一つの資器材で実技を行う。
- ④ 講習前後の手洗い・手指消毒の徹底。
- ⑤ 使用前後の講習資器材の消毒。

（1）救急法

ア 一般普及講習・短期講習

病気、けがや災害から自分自身を守るとともに、けが人や急病人を正しく救助して医師又は救急隊員等に引き継ぐまでの救命手当（心肺蘇生、AEDによる除細動、異物除去等）や応急手当（止血の仕方、三角巾の使い方、骨折の固定方法等）の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（救急法）

| 名称 | 計画 (回数) | 実績 | | | |
|---------|------------|-----|--------|--------|--------|
| | | 回数 | 受講者(人) | 修了者(人) | 認定者(人) |
| 基礎講習 | 110 | 99 | 2,311 | 2,302 | — |
| 救急員養成講習 | 29 | 37 | 1,036 | 997 | 997 |
| 指導員養成講習 | 1 | 1 | 14 | 13 | 13 |
| 短期講習 | 400 | 250 | 8,721 | — | — |
| 合計 | 540 | 387 | 12,082 | 3,312 | 1,010 |

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（救急法）

| 市区町名 | | 基礎講習 | | 救急員養成講習 | | 短期講習 | |
|-------|------|------|--------|---------|--------|------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） |
| 広島市 | 中区 | 19 | 453 | 11 | 188 | 24 | 728 |
| | 東区 | 3 | 62 | 2 | 51 | 13 | 406 |
| | 南区 | 7 | 147 | — | — | 24 | 1,032 |
| | 西区 | 4 | 46 | — | — | 17 | 669 |
| | 安佐南区 | 2 | 24 | 1 | 15 | 31 | 921 |
| | 安佐北区 | 1 | 51 | — | — | 17 | 531 |
| | 安芸区 | — | — | — | — | 7 | 656 |
| | 佐伯区 | 3 | 29 | — | — | 17 | 435 |
| 小計 | | 39 | 812 | 14 | 254 | 150 | 5,378 |
| 呉市 | | 11 | 308 | — | — | 10 | 408 |
| 竹原市 | | — | — | — | — | 1 | 30 |
| 三原市 | | 2 | 39 | 1 | 2 | 16 | 948 |
| 尾道市 | | 9 | 119 | — | — | 2 | 32 |
| 福山市 | | 5 | 88 | 2 | 31 | 10 | 150 |
| 府中市 | | — | — | — | — | 2 | 60 |
| 三次市 | | 1 | 12 | — | — | 3 | 141 |
| 庄原市 | | 2 | 42 | — | — | — | — |
| 大竹市 | | — | — | — | — | 1 | 16 |
| 東広島市 | | 9 | 249 | 10 | 233 | 12 | 382 |
| 廿日市市 | | 7 | 337 | 2 | 259 | 6 | 139 |
| 安芸高田市 | | — | — | — | — | 4 | 104 |
| 江田島市 | | 1 | 10 | — | — | 3 | 33 |
| 府中町 | | 1 | 9 | 1 | 9 | 3 | 199 |
| 海田町 | | 1 | 23 | 1 | 24 | 4 | 253 |
| 熊野町 | | — | — | — | — | 7 | 147 |
| 坂町 | | 2 | 140 | 2 | 140 | 1 | 8 |
| 安芸太田町 | | — | — | — | — | 3 | 36 |
| 北広島町 | | 1 | 13 | — | — | 1 | 9 |
| 大崎上島町 | | — | — | — | — | — | — |
| 世羅町 | | — | — | — | — | 2 | 37 |
| 神石高原町 | | — | — | — | — | 2 | 24 |
| 県外 | | 8 | 110 | 4 | 84 | 7 | 187 |
| 合計 | | 99 | 2,311 | 37 | 1,036 | 250 | 8,721 |

イ 指導員養成講習

救急法講習普及計画に基づき、赤十字の使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実働的な指導員の養成を図ることを目的として実施しました。

ウ 指導員研修会等

救急法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（救急法）

| 場所 | 日程 | 受講者（人） |
|------------|------------------|--------|
| 広島県支部 | 2月15日、2月26日、3月5日 | 149 |
| 福山すこやかセンター | 2月23日 | 24 |
| 合計 | | 173 |

■指導員登録状況（救急法）

| ボランティア指導員（人） | 職員指導員（人） | 合計（人） |
|--------------|----------|-------|
| 154 | 63 | 217 |

（2）水上安全法

ア 一般普及講習・短期講習

水の事故から生命を守り、泳ぎの基本と自己保全、溺者の救助、救命・応急手当等、水難救助に関する総合的な知識と技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（水上安全法）

| 名称 | 計画 (回数) | 実績 | | |
|----------|------------|----|--------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 認定者（人） |
| 救助員養成講習Ⅰ | 4 | 10 | 81 | 81 |
| 救助員養成講習Ⅱ | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 指導員養成講習 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 短期講習 | 70 | 38 | 1,052 | — |
| 合計 | 78 | 48 | 1,133 | 81 |

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（水上安全法）

| 市区町名 | | 救助員Ⅰ養成講習 | | 救助員Ⅱ養成講習 | | 短期講習 | |
|-------|------|----------|--------|----------|--------|------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） |
| 広島市 | 中区 | 1 | 7 | — | — | 6 | 250 |
| | 東区 | — | — | — | — | 5 | 76 |
| | 南区 | 1 | 10 | — | — | 3 | 38 |
| | 西区 | 1 | 4 | — | — | 1 | 40 |
| | 安佐南区 | — | — | — | — | 2 | 54 |
| | 安佐北区 | — | — | — | — | 1 | 18 |
| | 安芸区 | — | — | — | — | 5 | 179 |
| | 佐伯区 | 1 | 4 | — | — | 1 | 35 |
| 小計 | | 4 | 25 | — | — | 24 | 690 |
| 呉市 | | — | — | — | — | 2 | 31 |
| 竹原市 | | — | — | — | — | — | — |
| 三原市 | | — | — | — | — | 1 | 7 |
| 尾道市 | | — | — | — | — | — | — |
| 福山市 | | — | — | — | — | 1 | 9 |
| 府中市 | | — | — | — | — | — | — |
| 三次市 | | — | — | — | — | 3 | 137 |
| 庄原市 | | — | — | — | — | — | — |
| 大竹市 | | — | — | — | — | — | — |
| 東広島市 | | 1 | 4 | — | — | 2 | 16 |
| 廿日市市 | | 2 | 27 | — | — | — | — |
| 安芸高田市 | | — | — | — | — | — | — |
| 江田島市 | | 1 | 10 | — | — | — | — |
| 府中町 | | — | — | — | — | — | — |
| 海田町 | | — | — | — | — | — | — |
| 熊野町 | | — | — | — | — | 2 | 37 |
| 坂町 | | 1 | 7 | — | — | 1 | 50 |
| 安芸太田町 | | — | — | — | — | — | — |
| 北広島町 | | — | — | — | — | — | — |
| 大崎上島町 | | — | — | — | — | — | — |
| 世羅町 | | — | — | — | — | — | — |
| 神石高原町 | | — | — | — | — | — | — |
| 県外 | | 1 | 8 | — | — | 2 | 75 |
| 合計 | | 10 | 81 | — | — | 38 | 1,052 |

イ 指導員研修会等

水上安全法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（水上安全法）

| 場所 | 日程 | 受講者（人） |
|-------------|-------------|--------|
| 安芸区スポーツセンター | 12月4日、12月9日 | 26 |
| 合計 | | 26 |

■指導員登録状況（水上安全法）

| ボランティア指導員（人） | 職員指導員（人） | 合計（人） |
|--------------|----------|-------|
| 36 | 4 | 40 |

（3）幼児安全法

ア 一般普及講習・短期講習

子どもが家庭や地域で健やかに育っていくよう、子どもの成長・発達に伴う事故の予防と急病の対応及び万一に備えての救命・応急手当の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、保育所等で実施しました。

■講習実施状況（幼児安全法）

| 名称 | 計画 (回数) | 実績 | | |
|---------|------------|-----|--------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 認定者（人） |
| 支援員養成講習 | 6 | 4 | 72 | 67 |
| 短期講習 | 176 | 193 | 4,024 | — |
| 合計 | 182 | 197 | 4,096 | 67 |

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。



背部叩打法による気道異物除去



オンラインによる幼児安全法講習

■地域別講習実施状況（幼児安全法）

| 市区町名 | | 支援員養成講習 | | 短期講習 | |
|-------|------|---------|--------|------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） |
| 広島市 | 中区 | 2 | 39 | 50 | 1,363 |
| | 東区 | — | — | 14 | 196 |
| | 南区 | — | — | 10 | 190 |
| | 西区 | — | — | 4 | 46 |
| | 安佐南区 | 1 | 25 | 27 | 552 |
| | 安佐北区 | — | — | 4 | 66 |
| | 安芸区 | — | — | 5 | 156 |
| | 佐伯区 | — | — | 11 | 433 |
| 小計 | | 3 | 64 | 125 | 3,002 |
| 呉市 | | — | — | 4 | 100 |
| 竹原市 | | — | — | — | — |
| 三原市 | | 1 | 8 | 30 | 326 |
| 尾道市 | | — | — | 3 | 39 |
| 福山市 | | — | — | 15 | 332 |
| 府中市 | | — | — | 1 | 24 |
| 三次市 | | — | — | — | — |
| 庄原市 | | — | — | — | — |
| 大竹市 | | — | — | — | — |
| 東広島市 | | — | — | 5 | 48 |
| 廿日市市 | | — | — | 2 | 65 |
| 安芸高田市 | | — | — | — | — |
| 江田島市 | | — | — | — | — |
| 府中町 | | — | — | — | — |
| 海田町 | | — | — | — | — |
| 熊野町 | | — | — | 2 | 29 |
| 坂町 | | — | — | — | — |
| 安芸太田町 | | — | — | — | — |
| 北広島町 | | — | — | — | — |
| 大崎上島町 | | — | — | 1 | 4 |
| 世羅町 | | — | — | 1 | 11 |
| 神石高原町 | | — | — | 1 | 11 |
| 県外 | | — | — | 3 | 39 |
| 合計 | | 4 | 72 | 193 | 4,024 |

イ 指導員研修会等

幼児安全法講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（幼児安全法）

| 場所 | 日程 | 受講者（人） |
|-------|------------|--------|
| 広島県支部 | 2月8日、2月11日 | 38 |
| 合計 | | 38 |

■指導員登録状況（幼児安全法）

| ボランティア指導員（人） | 職員指導員（人） | 合計（人） |
|--------------|----------|-------|
| 30 | 27 | 57 |

（４）健康生活支援講習

ア 一般普及講習・短期講習

高齢期を健やかに事故なく過ごすために必要な知識・技術、高齢者自立支援に必要な介護技術等を普及することを目的とした講習を支部、地域等で実施しました。

また、避難所における不自由な生活から高齢者を守るために知っておきたい知識や支援技術について学ぶ災害時高齢者生活支援講習を実施しました。

■講習実施状況（健康生活支援講習）

| 名称 | 計画 (回数) | 実績 | | | |
|--------------|------------|----|--------|--------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 修了者（人） | 認定者（人） |
| 支援員養成講習 | 5 | 1 | 6 | 6 | 5 |
| 災害時高齢者生活支援講習 | 5 | 11 | 307 | — | — |
| 短期講習 | 25 | 17 | 420 | — | — |
| 合計 | 35 | 29 | 733 | 6 | 5 |

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（健康生活支援講習）

| 市区町名 | | 支援員養成講習 | | 災害時高齢者生活支援講習 | | 短期講習（災害時以外） | |
|-------|------|---------|--------|--------------|--------|-------------|--------|
| | | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） | 回数 | 受講者（人） |
| 広島市 | 中区 | 1 | 6 | 2 | 36 | 5 | 141 |
| | 東区 | — | — | — | — | — | — |
| | 南区 | — | — | — | — | 1 | 18 |
| | 西区 | — | — | — | — | — | — |
| | 安佐南区 | — | — | — | — | — | — |
| | 安佐北区 | — | — | 2 | 67 | — | — |
| | 安芸区 | — | — | — | — | 1 | 23 |
| | 佐伯区 | — | — | — | — | — | — |
| 小計 | | 1 | 6 | 4 | 103 | 7 | 182 |
| 呉市 | | — | — | 1 | 42 | 5 | 158 |
| 竹原市 | | — | — | — | — | — | — |
| 三原市 | | — | — | — | — | — | — |
| 尾道市 | | — | — | 1 | 17 | — | — |
| 福山市 | | — | — | 2 | 24 | — | — |
| 府中市 | | — | — | — | — | — | — |
| 三次市 | | — | — | — | — | — | — |
| 庄原市 | | — | — | 2 | 51 | — | — |
| 大竹市 | | — | — | — | — | — | — |
| 東広島市 | | — | — | — | — | 1 | 47 |
| 廿日市市 | | — | — | — | — | 3 | 18 |
| 安芸高田市 | | — | — | — | — | — | — |
| 江田島市 | | — | — | — | — | — | — |
| 府中町 | | — | — | — | — | — | — |
| 海田町 | | — | — | — | — | — | — |
| 熊野町 | | — | — | 1 | 70 | 1 | 15 |
| 坂町 | | — | — | — | — | — | — |
| 安芸太田町 | | — | — | — | — | — | — |
| 北広島町 | | — | — | — | — | — | — |
| 大崎上島町 | | — | — | — | — | — | — |
| 世羅町 | | — | — | — | — | — | — |
| 神石高原町 | | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | | 1 | 6 | 11 | 307 | 17 | 420 |

イ 指導員研修会等

健康生活支援講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会を実施しました。

■指導員研修会実施状況（健康生活支援講習）

| 場所 | 日程 | 受講者（人） |
|-------|------|--------|
| 広島県支部 | 2月4日 | 18 |
| 合計 | | 18 |

■指導員登録状況（健康生活支援講習）

| ボランティア指導員（人） | 職員指導員（人） | 合計（人） |
|--------------|----------|-------|
| 13 | 20 | 33 |



健康生活支援講習



災害時高齢者生活支援講習

3 赤十字ボランティア

赤十字ボランティアには、グループで活動しているボランティアと個人で活動しているボランティアがいます。グループで活動しているボランティアは、市区町村ごとに組織された「地域赤十字奉仕団」、おおむね18～30歳の社会人や学生などで組織された「青年赤十字奉仕団」、さまざまな専門技術や職業を活かして活動する「特殊赤十字奉仕団」の3つの種類があります。県内に合わせて34団体組織されています。

個人で活動しているボランティアは、日本赤十字社の本社、各都道府県支部、赤十字病院、赤十字血液センター、献血ルーム、社会福祉施設などの各施設で活動しています。

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくために様々なボランティア活動を展開しています。

また、各種奉仕団の連携強化や活動の充実を図るため、委員会や研修会等を実施しています。

■委員会・研修会等実施状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|----------------------|-----------|-------|--------|
| 赤十字奉仕団中央委員会 | 5月30日～31日 | 本社 | 1 |
| 第1回広島県赤十字奉仕団支部委員会 | — | 文書 | — |
| 第1回広島県赤十字奉仕団委員長会議 | — | 文書 | — |
| 第5ブロック赤十字奉仕団協議会 | 9月26日～27日 | 高知県支部 | 1 |
| 赤十字ボランティア基礎研修 | 3月5日 | 広島県支部 | 19 |
| 赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会 | 7月16日～17日 | 広島県支部 | 3 |
| 赤十字ボランティア・リーダー研修会 | 1月28日～30日 | 本社 | 3 |
| 赤十字奉仕団支部指導講師研修会 | 1月28日～30日 | 本社 | — |
| 第5ブロック赤十字奉仕団研修会 | 12月1日～2日 | 香川県支部 | 1 |
| 赤十字ボランティア研修(赤十字見学) | 10月22日 | 広島県支部 | 8 |



赤十字ボランティア基礎研修会

(1) 地域赤十字奉仕団

地域赤十字奉仕団は、各地域における赤十字事業を第一線で支えるボランティア組織として、主に市町単位に組織され、活動資金募集活動や赤十字思想の普及活動に取り組むほか、高齢者支援活動（給食サービス・友愛訪問等）、社会福祉施設の訪問や地域福祉活動等のそれぞれの地域のニーズに応じた活動を展開しています。

■地域赤十字奉仕団一覧

| 名称 | 結成年度 | 団員(人) |
|------------------------------|----------|-------|
| 呉市赤十字奉仕団 | 昭和 26 年度 | 1,092 |
| 竹原市女性連絡協議会赤十字奉仕団 | 昭和 33 年度 | 1,050 |
| 広島市女性赤十字奉仕団 | 昭和 35 年度 | 4,000 |
| 坂町赤十字奉仕団 | 昭和 63 年度 | 55 |
| 神辺町赤十字奉仕団 | 平成 元年度 | 38 |
| 江田島市赤十字奉仕団 | 平成 元年度 | 244 |
| 安芸津町女性赤十字奉仕団 | 平成 2 年度 | 69 |
| 木江赤十字奉仕団 | 平成 2 年度 | 36 |
| 尾道市赤十字奉仕団 | 平成 5 年度 | 36 |
| 三原市赤十字奉仕団 | 平成 5 年度 | 24 |
| 東広島市赤十字奉仕団 | 平成 5 年度 | 17 |
| 三和町赤十字奉仕団 | 平成 6 年度 | 45 |
| 福山市赤十字奉仕団 | 平成 9 年度 | 27 |
| 庄原市赤十字奉仕団 | 平成 12 年度 | 61 |
| 尾道市瀬戸田町さくら赤十字奉仕団 | 平成 17 年度 | 20 |
| 世羅町赤十字奉仕団 | 平成 20 年度 | 30 |
| 海田町おもちゃの病院赤十字奉仕団 | 平成 20 年度 | 14 |
| 府中町防災研究会赤十字奉仕団 | 平成 20 年度 | 17 |
| 府中市赤十字奉仕団 | 平成 22 年度 | 20 |
| はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団 | 平成 24 年度 | 16 |
| 熊野町女性会赤十字奉仕団 | 平成 26 年度 | 22 |
| 合計 | 21 団 | 6,933 |

(2) 青年赤十字奉仕団

青年赤十字奉仕団は、県内の大学・短期大学等の学生や社会人によって組織されており、社会福祉施設への定期訪問や若年層を中心にした献血推進活動、義援金募集活動等に取り組んでいます。

例年12月に行っているNHK海外たすけあいキャンペーンでは、新型コロナウイルス感染症への感染対策を施した上で、街頭募金と支援バザーを実施しました。

創設100周年を迎えた青少年赤十字特別事業において、ギネス記録挑戦に向けておりづるの連結等の活動を行いました。



広島市内の街頭でNHK海外たすけあい募金を実施



100万羽おりづるプロジェクトへの協力

■青年赤十字奉仕団一覧

| 名称 | 結成年度 | 団員(人) |
|-----------------------|--------|-------|
| 山陽女子短期大学赤十字ボランティアサークル | 昭和62年度 | 60 |
| 世羅地区夢工房四季青年赤十字奉仕団 | 昭和62年度 | 11 |
| 広島県青年赤十字奉仕団 | 平成10年度 | 67 |
| 日本赤十字広島看護大学学生赤十字奉仕団 | 平成18年度 | 41 |
| 安田女子大学赤十字奉仕団 | 平成28年度 | 14 |
| 合計 | 5団 | 173 |

■協議会・研修会等参加状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|---------------------|------------|-----|--------|
| 第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会 | 6月4日～5日 | 香川県 | 2 |
| 第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会 | 11月19日～20日 | 岡山県 | 1 |

(3) 特殊赤十字奉仕団

アマチュア無線やバイク等専門的な技術や資格を有する特殊赤十字奉仕団は、その特性を活かした災害救護活動や赤十字病院内でのボランティア活動、青少年赤十字の支援、防災活動等を行っています。

■特殊赤十字奉仕団一覧

| 名称 | 結成年度 | 団員(人) |
|----------------------|----------|-------|
| すみれ会赤十字奉仕団 | 昭和 51 年度 | 13 |
| 広島県安全赤十字奉仕団 | 昭和 57 年度 | 72 |
| 広島県アマチュア無線赤十字奉仕団 | 平成 3 年度 | 77 |
| 広島レスキューサポートバイク赤十字奉仕団 | 平成 10 年度 | 25 |
| 広島県青少年赤十字賛助奉仕団 | 平成 14 年度 | 26 |
| 健康・栄養赤十字奉仕団 | 令和元年度 | 28 |
| 広島県赤十字水上安全奉仕団 | 令和 2 年度 | 26 |
| 合計 | 7 団 | 267 |

■協議会・研修会等参加状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|---------------------------------|----------------|-----|--------|
| 全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 総会・第 1 回役員会 | 7 月 13 日～15 日 | 本社 | 1 |
| 中四国ブロック青少年赤十字賛助奉 仕団協議会・研修会 | 10 月 28 日～29 日 | 広島県 | 1 |

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を、学校教育の中で実践することを目的とし、3つの実践目標と3つの態度目標を掲げています。

3つの実践目標

- 『健康・安全』 生命と健康を大事にする。
- 『奉仕』 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し実行する。
- 『国際理解・親善』 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。

3つの態度目標

- 『気づき』 注意深い生活を心がけ、自ら課題に気づく。
- 『考え』 原因や問題解決の道筋を考える。
- 『実行する』 解決のために実行する。

(1) 青少年赤十字加盟校

県内 241 の学校・園（所）が青少年赤十字に加盟しており、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センターへの参加等、学校内でのボランティアなど様々な活動を行っています。

■ 青少年赤十字加盟状況

| 区分 | 幼稚園・保育園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 義務教育 | 中等教育 | 特別支援 | 計 |
|-------|---------|--------|--------|--------|------|------|------|--------|
| 学校数 | 29 | 94 | 75 | 39 | 3 | 1 | 4 | 241 |
| メンバー数 | 3,903 | 35,272 | 26,063 | 10,424 | 449 | 693 | 531 | 77,335 |

幼稚園・保育所・認定こども園 29 園(所) *令和4年度新規加盟

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|----------|-----|--------------|-----|-------------|-----|
| ちどり幼稚園 | 179 | 広島市江波第二保育園 | 117 | 広島市立亀山南保育園 | 73 |
| フレーザー幼稚園 | 37 | 広島和光園保育所 | 189 | つきのひかり国際保育園 | 116 |
| みみょう幼稚園 | 154 | 段原みみょう保育園 * | 140 | 保育所ひかり学園 | 75 |
| 安佐幼稚園 | 75 | 第二みみょうこども園 * | 365 | くまの中央保育園 | 100 |
| 焼山こぼと幼稚園 | 196 | 広島市中筋保育園 * | 154 | くまのみらい保育園 | 183 |
| 尾道幼稚園 | 61 | 広島市上安保育園 | 144 | 坂みみょう保育園 | 144 |
| 千田保育園 | 242 | 広島市川内保育園 | 118 | 栄光こども園 | 152 |
| 広島市舟入保育園 | 123 | 保育所まこと学園 | 66 | りじょう認定こども園 | 203 |
| 広島市神崎保育園 | 195 | 広島市大町保育園 | 144 | はつかみこども園 | 48 |
| 広島市江波保育園 | 95 | 広島市立三田保育園 | 15 | | |

小学校 94校 *令和4年度新規加盟

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|---------------|------|---------------|------|------------------|-----|
| 広島市立白島小学校 | 542 | 広島市立祇園小学校 | 1051 | 竹原市立竹原小学校 * | 189 |
| 広島市立基町小学校 | 80 | 広島市立長束小学校 | 442 | 竹原市立中通小学校 * | 112 |
| 広島市立千田小学校 | 656 | 広島市立戸山小学校 | 78 | 竹原市立竹原西小学校 * | 190 |
| 広島市立吉島小学校 | 318 | 広島市立伴東小学校 | 466 | 竹原市立東野小学校 * | 19 |
| 広島市立吉島東小学校 | 415 | 広島市立大塚小学校 | 418 | 竹原市立荘野小学校 * | 67 |
| 広島市立広瀬小学校 | 303 | 広島市立伴南小学校 | 674 | 竹原市立仁賀小学校 * | 15 |
| 学校法人安田学園安田小学校 | 494 | 広島市立東野小学校 | 809 | 三原市立須波小学校 | 58 |
| 広島市立牛田新町小学校 | 459 | 広島市立春日野小学校 | 1191 | 福山市立高島小学校 | 128 |
| 広島市立牛田小学校 | 1232 | 広島市立深川小学校 * | 470 | 府中市立旭小学校 | 39 |
| 広島市立大州小学校 | 323 | 広島市立倉掛小学校 | 211 | 府中市立上下南小学校 | 49 |
| 広島市立比治山小学校 | 921 | 広島市立真亀小学校 | 178 | 三次市立八幡小学校 | 17 |
| 広島市立皆実小学校 | 739 | 広島市立中野東小学校 | 287 | 東広島市立龍王小学校 * | 985 |
| 広島市立翠町小学校 | 454 | 広島市立中野小学校 | 429 | 廿日市市立原小学校 | 58 |
| 広島市立仁保小学校 | 605 | 広島市立船越小学校 | 457 | 廿日市市立阿比台西小学校 | 513 |
| 広島市立元字品小学校 | 63 | 広島市立矢野西小学校 | 432 | 廿日市市立金剛寺小学校 | 204 |
| 広島市立似島小学校 | 31 | 広島市立矢野小学校 | 586 | 江田島市立中町小学校 | 108 |
| 広島市立大芝小学校 | 612 | 広島市立みどり坂小学校 | 922 | 海田町立海田西小学校 | 207 |
| 広島市立観音小学校 * | 570 | 広島市立河内小学校 * | 150 | 熊野町立熊野第一小学校 | 528 |
| 広島市立南観音小学校 * | 831 | 広島市立五日市観音西小学校 | 552 | 熊野町立熊野第二小学校 | 89 |
| 広島市立鈴が峰小学校 * | 151 | 広島市立五月が丘小学校 | 436 | 熊野町立熊野第三小学校 | 262 |
| 広島市立古田小学校 | 49 | 広島市立美鈴が丘小学校 | 562 | 熊野町立熊野第四小学校 | 295 |
| 広島市立庚午小学校 | 885 | 広島市立五日市小学校 | 906 | 坂町立坂小学校 | 336 |
| 広島市立草津小学校 | 754 | 広島市立五日市東小学校 | 582 | 坂町立横浜小学校 | 322 |
| 広島市立井口小学校 | 999 | 広島市立湯来東小学校 | 20 | 坂町立小屋浦小学校 | 71 |
| 広島市立古田台小学校 | 142 | 広島市立湯来西小学校 | 9 | 安芸太田町立筒賀小学校 | 53 |
| 広島市立緑井小学校 * | 660 | 呉市立坪内小学校 | 160 | 神石高原町立来見小学校 | 66 |
| 広島市立川内小学校 | 1142 | 呉市立荘山田小学校 | 473 | 神石高原町立豊松小学校 | 14 |
| 広島市立毘沙門台小学校 | 449 | 呉市立昭和南小学校 | 178 | 三次市立三和小学校 | 74 |
| 広島市立安小学校 | 463 | 呉市立蒲刈小学校 | 42 | 廿日市市立吉和小学校・吉和中学校 | 34 |
| 広島市立安西小学校 | 402 | 呉市立警固屋小学校 | 114 | 廿日市市立宮島小・中学校 | 90 |
| 広島市立山本小学校 | 970 | 竹原市立大乘小学校 * | 54 | 広島市立似島学園小・中学校 | 27 |

※ 在籍児童・生徒がない学校を除く。

※ 一貫校の人数は、小学校の部のみ計上。

中学校 75校 *令和4年度新規加盟

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|--------------|------|--------------|-----|---------------------|-----|
| 広島市立国泰寺中学校 | 653 | 広島市立白木中学校 | 122 | 竹原市立竹原中学校 * | 294 |
| 広島市立二葉中学校 | 737 | 広島市立高陽中学校 | 387 | 竹原市立賀茂川中学校 * | 49 |
| 広島市立福木中学校 | 321 | 広島市立落合中学校 | 309 | 三原市立第三中学校 | 458 |
| 広島市立早稲田中学校 | 135 | 広島市立清和中学校 | 207 | 三原市立幸崎中学校 | 49 |
| 広島市立段原中学校 * | 26 | 広島市立亀崎中学校 | 150 | 三原市立宮浦中学校 | 304 |
| 広島市立仁保中学校 | 230 | 広島市立口田中学校 | 749 | 福山市立城北中学校 * | 672 |
| 広島市立楠那中学校 | 84 | 広島市立矢野中学校 | 679 | 大竹市立大竹中学校 | 297 |
| 広島市立宇品中学校 | 802 | 広島市立船越中学校 | 162 | 府中町立府中中学校 | 658 |
| 広島市立似島中学校 | 30 | 広島市立五日市観音中学校 | 509 | 東広島市立松賀中学校 * | 432 |
| 広島市立中広中学校 | 638 | 広島市立五月が丘中学校 | 202 | 東広島市立もみじ中学校 * | 12 |
| 広島市立観音中学校 | 683 | 広島市立美鈴が丘中学校 | 239 | 海田町立海田西中学校 | 217 |
| 広島市立己斐上中学校 | 194 | 広島市立三和中学校 | 682 | 海田町立海田中学校 | 496 |
| 広島市立井口中学校 | 724 | 広島市立五日市南中学校 | 598 | 熊野町立熊野中学校 | 301 |
| 広島市立井口台中学校 | 258 | 広島市立湯来中学校 | 12 | 広島県新庄学園新庄中学校 | 115 |
| 広島市立城南中学校 | 760 | 広島市立砂谷中学校 | 59 | 三次市立三和中学校 | 31 |
| 広島市立安佐中学校 | 732 | 呉市立仁方中学校 | 147 | 尾道市立日比崎中学校 | 275 |
| 広島市立祇園中学校 | 1173 | 呉市立広南中学校 | 58 | 廿日市市立吉和小学校・吉和中学校 | 19 |
| 広島市立祇園東中学校 | 663 | 呉市立白岳中学校 | 358 | 廿日市市立宮島小・中学校 | 38 |
| 広島市立安西中学校 | 454 | 呉市立郷原中学校 | 177 | 修道中・高等学校 | 861 |
| 広島市立戸山中学校 | 55 | 呉市立宮原中学校 | 122 | ノートルダム清心中・高等学校 | 546 |
| 広島市立伴中学校 * | 755 | 呉市立呉中央中学校 | 306 | 広島なぎさ中・高等学校 | 2 |
| 広島市立安佐南中学校 | 447 | 呉市立吉浦中学校 | 159 | 呉青山中・高等学校 | 60 |
| 広島市立高取北中学校 * | 417 | 呉市立安浦中学校 | 199 | 県立広島中・高等学校 | 476 |
| 広島市立城山北中学校 * | 361 | 呉市立明德中学校 | 35 | 福山暁の星女子中学・高等学校 | 184 |
| 広島市立東原中学校 | 623 | 呉市立片山中学校 | 206 | 近畿大学付属広島高等学校・中学校福山校 | 429 |

※ 一貫校の人数は、中学校の部のみ計上。

義務教育学校 3校

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|-----------|-----|------------|-----|------------|-----|
| 福山市立鞆の浦学園 | 137 | 竹原市立吉名学園 * | 130 | 竹原市立忠海学園 * | 182 |

中等教育学校 1校

| 学校名等 | 人数 |
|--------------|-----|
| 広島市立広島中等教育学校 | 693 |

高等学校 39校 *令和4年度新規加盟

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|-----------------|-----|---------------|-----|---------------------|-----|
| 広島市立舟入高等学校 | 23 | 広島県立呉工業高等学校 | 6 | 広島県立河内高等学校 | 153 |
| 広島県立広島商業高等学校 | 20 | 広島県立広高等学校 | 8 | 広島県立宮島工業高等学校 | 715 |
| 広島市立広島みらい創生高等学校 | 7 | 広島県立呉三津田高等学校 | 7 | 広島県立安芸府中高等学校 | 21 |
| 広島県瀬戸内高等学校 | 24 | 清水ヶ丘高等学校 | 426 | 広島県立熊野高等学校 | 3 |
| 広島県立安芸高等学校 | 144 | 広島県立御調高等学校 | 7 | 広島修道大学ひろしま協創高等学校 | 15 |
| 広島県立広島工業高等学校 * | 786 | 広島県立尾道商業高等学校 | 543 | 広島県立加計高等学校芸北分校 | 79 |
| 広島県立広島井口高等学校 | 6 | 並木学院福山高等学校 | 239 | 修道中・高等学校 | 856 |
| 広島市立美鈴が丘高等学校 | 706 | 広島県立福山誠之館高等学校 | 878 | ノートルダム清心中・高等学校 | 528 |
| 広島県立安古市高等学校 | 49 | 広島県立福山工業高等学校 | 639 | 広島なぎさ中・高等学校 | 20 |
| 広島県立安西高等学校 | 248 | 広島県立庄原格致高等学校 | 92 | 呉青山中・高等学校 | 105 |
| 広島県立高陽高等学校 | 712 | 広島県立庄原実業高等学校 | 68 | 県立広島中・高等学校 | 707 |
| 広島県立高陽東高等学校 | 636 | 広島県立賀茂高等学校 | 42 | 福山暁の星女子中学・高等学校 | 190 |
| 広島翔洋高等学校 | 1 | 広島県立西条農業高等学校 | 17 | 近畿大学付属広島高等学校・中学校福山校 | 698 |

※ 一貫校の人数は、高等学校の部のみ計上。

特別支援学校 4校

| 学校名等 | 人数 | 学校名等 | 人数 |
|----------------|----|---------------|-----|
| 広島県立広島南特別支援学校 | 64 | 広島県立広島特別支援学校 | 193 |
| 広島県立広島中央特別支援学校 | 40 | 広島県立広島北特別支援学校 | 234 |



加盟登録式の様子

(2) 青少年赤十字広島県指導者協議会

青少年赤十字には、各都道府県に青少年赤十字加盟校の教員で組織された「青少年赤十字指導者協議会」が設置されています。この協議会は、青少年赤十字の健全な発展と普及促進を目的として、指導・運営等に関する諸事項を研究・協議し、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センター等の事業を企画・遂行しています。

(3) 青少年赤十字研修会・講習会等

青少年赤十字広島県指導者研修会は、青少年赤十字の指導にあたる学校・園の指導者を対象とし、指導者の養成・研修を行っています。

本社や第5ブロックの研修会等では、オンラインを活用し、他県の指導者と積極的な意見交換・相互指導の場としています。

■研修会・講習会等参加状況

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|------------------------------------|------------|-------|--------|
| 青少年赤十字広島県指導者協議会総会・役員会・常任委員会 | 4月22日 | 広島県支部 | 20 |
| 青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会 | 6月29日 | 本社 | 1 |
| 第5ブロック青少年赤十字指導者協議会並びに青少年赤十字事務担当者会議 | 11月10日～11日 | 島根県 | 2 |
| 青少年赤十字広島県指導者研修会 | 7月2日 | 広島県支部 | 18 |

(4) 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター等

ア 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター

県内の児童・生徒を対象とし、赤十字や青少年赤十字に関する知識や赤十字救急法等の技術を学びながら、集団生活の中でリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけます。

| 名称 | 区分 | 日程 | 場所 | 参加者(人) | 指導者(人) |
|------------------------------|------|-----------|----------|--------|--------|
| 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター | 小学校 | 11月26日 | 広島県支部 | 13 | 11 |
| | 中学校 | 8月17日～18日 | 広島県支部 | 11 | 9 |
| | 高等学校 | 8月8日～9日 | 広島県情報プラザ | 26 | 9 |



小学校・講習(傷の手当)



(右上) 中学校・フィールドワーク
(右下) 高等学校・講習(一次救命措置)

イ 青少年赤十字スタディ・センター

青少年赤十字スタディ・センターは、本社が主催する青少年赤十字リーダー養成のための宿泊型研修会です。従来は各都道府県の青少年赤十字加盟校（高等学校）の代表生徒が山梨県にある山中湖東照館で4泊5日におよぶ研修会に参加しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、WEB開催1日及び1泊2日の宿泊研修の複合型の研修（スタディ・プログラム）として開催され、本県からは、青少年赤十字高等学校協議会から2名が選出され参加しました。

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|------------------|----------------|------------------|--------|
| 青少年赤十字スタディ・プログラム | 3月21日 3月25日 | 広島県支部（WEB） 本社 | 2 |



全国から集まった JRC 高校生メンバーたち



本社にて記念撮影

(5) 青少年赤十字広島県大会

青少年赤十字加盟校の相互交流とメンバーの親善を深めるとともに、青少年赤十字活動の充実・発展を図ることを目的として、開催しています。永年継続加盟校の表彰、参加学校等による活動発表や学校種ごとに分科会を行っています。

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|-------------|--------|------------|--------|
| 青少年赤十字広島県大会 | 10月29日 | 広島市立国泰寺中学校 | 145 |



永年加盟表彰式の様子



活動発表の様子

(6) 広島県青少年赤十字研究会

青少年赤十字加盟校の指導者を対象に、学校教育における青少年赤十字の現状と成果を理解し、今後の青少年赤十字活動の普及及び活性化を図ることを目的に研究会を開催しています。プログラムの中では、青少年赤十字研究推進校の活動報告のほか、指導者による積極的な意見交換が行われます。

| 名称 | 日程 | 場所 | 参加者(人) |
|--------------|-------|--------------|--------|
| 広島県青少年赤十字研究会 | 2月10日 | 広島県支部(一部WEB) | 31 |

(7) 青少年赤十字活動資金(通称:1円玉募金)

青少年赤十字では、実践目標のひとつ「国際理解・親善」の一環として、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために募金活動(1円玉募金)を行っています。

令和4年度は、県内1園が集めた1円玉募金を受け付けました。

■1円玉募金受付状況

| 件数(件) | 金額(円) |
|-------|-------|
| 1 | 509 |

(8) 青少年赤十字創設100周年特別事業「100万羽おりづるプロジェクト」

青少年赤十字創設100周年を迎え、園児・児童・生徒の国際理解を深めるとともに、人類社会に対する奉仕の精神を育成することを目的として、「100万羽おりづるプロジェクト」を実施しました。

同プロジェクトには、県内312の学校(うち未加盟校127校を含む)と39の企業・団体等が参加し、120万羽を超えるおりづるを制作しました。(制作期間:令和4年1月~8月)

9月24日にギネス世界記録挑戦イベントを開催しました。

令和5年2月には、青少年赤十字の創設ときっかけとなった活動に倣い、おりづるを再生利用して作ったノート1,000冊をコロナ禍で家族等を失ったネパール連邦民主共和国の子どもたちへ寄贈しました。

ア おりづるの制作数 1,206,416羽

■参加状況

| 区分 | 参加校等数 | 参加者数 |
|---------------|-------|---------|
| 学校・園(未加盟校を含む) | 312校 | 約11万2千人 |
| 赤十字奉仕団 | 15団 | - |
| 企業・団体 | 24団体 | - |

赤十字奉仕団・企業・団体等一覧

| 赤十字奉仕団・企業・団体名 | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---------------------------|
| マツダ株式会社 | 株式会社サンネット | 宗教法人法瀧寺 |
| 広島アンデルセン | 広島女学院大学 | 広島高等歯科衛生士専門学校 |
| メリイハウス西風新都（医療法人社団八千代会） | ANA クラウンプラザホテル | 広島デンタルアカデミー専門学校 |
| 一般社団法人 HAWK CSR | 医療法人社団恵正会 | 熊野町社会福祉協議会 |
| Hale Kupuna（社会福祉法人藤愛会） | SONPO ケアラヴィーレ広島光が丘 | デイサービス榎町（NPO 法人そうら） |
| リバーサイド中広（社会福祉法人藤愛会） | YKB' s グループ | 広島市大芝児童館 |
| 放課後等デイサービスすみれ遊湧 （有限会社 エムハートジャパン） | 光南デイサービスセンターすみれ （有限会社 クロストーン） | 山陽女子短期大学赤十字ボラン ティアサークル |
| Seemly | 県立広島大学 | 安田女子大学赤十字奉仕団 |
| 日本赤十字広島看護大学 | 呉市赤十字奉仕団 | 広島市女性赤十字奉仕団 |
| 広島県青年赤十字奉仕団 | 福山市赤十字奉仕団 | 福山市神辺町赤十字奉仕団 |
| 木江赤十字奉仕団 | 三原市赤十字奉仕団 | 東広島市赤十字奉仕団 |
| 三和町赤十字奉仕団 | 府中町防災研究会赤十字奉仕団 | 熊野町女性会赤十字奉仕団 |
| 庄原市赤十字奉仕団 | 世羅町赤十字奉仕団 | |

イ ギネス世界記録認定

- ・開催日時 令和4年9月22日～24日
- ・開催場所 広島県立総合体育館武道場
- ・挑戦名 Lagest origami lei（最も長い折り紙レイ）
- ・記録 15,579.7m（約15.6km）※審査基準を満たした折り鶴579,658羽を使用
- ・ボランティア参加 延450名（3日間）

ウ おりづる再生ノートの寄贈

- ・渡航期間 令和5年2月6日～12日
- ・渡航場所 ネパール連邦民主共和国 パルバト郡・シャンジャ郡の学校
- ・寄贈 おりづる再生ノート1,000冊



おりづる制作（左上）、ギネス世界記録認定（左下）、ネパールの子どもへのノート寄贈の様子（右）

5 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として世界 192 の国と地域の赤十字・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに緊急救援・復興支援や開発協力等を実施しています。

(1) 国際救援・開発協力要員の登録状況

日本赤十字社では、海外で発生した災害や保健衛生事業に従事するための要員を「国際救援・開発協力要員（以下、「要員」という。）」として常時登録しています。

■ 県内登録状況

| 施設名 | 医師（人） | 看護師（人） | 薬剤師（人） | 事務（人） | 合計（人） |
|-------------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 日本赤十字社広島県支部 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 広島赤十字・原爆病院 | 2 | 1 | 1 | 2 | 6 |
| 三原赤十字病院 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 合計 | 2 | 1 | 1 | 5 | 9 |

(2) 国際活動参加事業

第5ブロック及び当支部は、国際赤十字の一員として、本社が行う国際活動に係る職員の派遣、国際支援事業への財政的・物的支援を行っています。令和4年度には、次の国際支援事業への要員派遣、財政的支援を行いました。

ア パレスチナ赤新月社医療支援事業

日本赤十字社は2015年から中東地域で続く紛争やそれに起因する人道危機の被災者への支援を重点支援事業として取り組んでおり、その一環として2018年4月からはパレスチナ赤新月社と協力し、レバノンにおいて同社が運営する医療施設への支援活動を展開しています。広島・赤十字原爆病院から看護師1名を派遣し、医療施設の支援を行いました。



イ アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業（第5ブロック共同参加）

アジア・大洋州地域の災害多発国赤十字社が、給水・衛生災害対応キットを計画的に配備し、災害時に効果的に給水や衛生活動を展開できるよう各国赤十字社のスタッフ・ボランティアの研修と人材育成のための事業資金支援を行いました。



ウ ラオス救急法普及支援事業

ラオス人民民主共和国は、医療従事者が不足しており、医療水準も近隣諸国と比べて極めて低い状況にあることから、救急法普及体制を強化し、地域社会への救急法講習の普及を推進するための事業資金支援を行いました。



エ バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業

バングラデシュ南部の避難民にキャンプに暮らす避難民及び地元コミュニティの健康状況が一次医療及び地域保健を通じて改善されるよう、必要に応じ薬剤師、災害対応要員、技術要員の派遣等、地元赤十字社の対応能力強化に寄与するための事業資金支援を行いました。



(3) 海外救援金

海外で突発的に発生した大規模災害や紛争発生時に募集する救援金を受け付けました。集められた救援金は被災国の赤十字社が行う被災者支援に役立てられます。

■海外救援金受付状況

| 名称 | 受付期間 | 件数 (件) | 金額 (円) |
|-------------------|-------------|-----------|------------|
| 中東人道危機救援金 | 4月1日～3月31日 | 4 | 6,316 |
| バングラデシュ南部避難民救援金 | 4月1日～3月31日 | 4 | 16,148 |
| アフガニスタン人道危機救援金 | 4月1日～3月31日 | 7 | 107,721 |
| ウクライナ人道危機救援金 | 4月1日～3月31日 | 262 | 14,071,286 |
| 2022年アフガニスタン地震救援金 | 6月27日～9月30日 | 3 | 8,050 |
| 2022年パキスタン洪水救援金 | 9月6日～11月30日 | 5 | 20,873 |
| 2023年トルコ・シリア地震救援金 | 2月9日～5月31日 | 190 | 6,966,698 |

(4) 「NHK海外たすけあい」(第40回)キャンペーン

「NHK海外たすけあい」キャンペーンは世界各地の紛争や自然災害、病気などに苦しむ人々を救うために、日本赤十字社が昭和58年から毎年12月にNHKと共同で実施しています。

支部では、広島県青年赤十字奉仕団が中心となり、青少年赤十字加盟校の生徒達とともに街頭募金活動と支援バザーを実施し、その売り上げを寄付しました。

■受付状況

| 名称 | 受付期間 | 件数 (件) | 金額 (円) |
|-------------------|-----------|-----------|------------|
| NHK 海外たすけあいキャンペーン | 12月1日～25日 | 2,386 | 18,856,583 |



オープニングセレモニーでは園児たちが募金を持参



広島県青年赤十字奉仕団メンバーによる支援バザー

6 赤十字思想の普及・広報

(1) レッドライトアッププロジェクト

広島城天守閣を赤くライトアップし、「人のいのちと健康を守る」という赤十字理念を広め、活動へのご支援を呼び掛けました。



(2) ラッピング電車

赤十字思想の普及のため、広島県赤十字血液センター、日本赤十字広島看護大学と共同で日本赤十字社のラッピング電車を運行し、赤十字のさまざまな活動をPRしました。



(3) イベント出展

過去の災害を通じて防災の大切さを幅広い世代に再認識してもらうため、「安佐南防災フェス 2022」にブースを出展し、赤十字の講習、ミニ防災セミナー、現地災害対策本部車両への乗車体験、災害救護活動のパネル・災害救援物資の展示などを行いました。



(4) 「ACTION! 防災・減災」

日本赤十字社では東日本大震災から10年を機に「ACTION! 防災・減災—命のために今うごく—」を展開しています。



(5) テレビCM

支援者の想いを託されている日本赤十字社は、危機を前に立ち上がる人々と手を取り合いながら、災害時においても活動する、そのような想いを込めたCMが放送されました。



(6) 看板広告

赤十字思想の普及と支援者からの会費・寄付金増強のため、広電宮島線高須駅電停前に交通広告を設置し、広電を利用する方にPRを行いました。



(7) その他広報活動

SNS（Facebook、Instagram、Twitter、YouTube）を活用した広報活動を行いました。イベントの報告にとどまらず、日常生活で起こりやすい事故の知識等について、動画やイラストを使用して情報を発信・普及しました。



公式 YouTube で公開した動画



Facebook で事故から子どもを守るための知識を分かりやすく発信

(8) メディア出演による情報発信

広島県支部職員がラジオ出演し、青少年赤十字創設 100 周年記念事業「100 万羽おりづるプロジェクト」、「おうち de 学ぼう！赤十字幼児安全法オンライン講習」の PR を行いました。



7 会員と活動資金

広島県支部が行う活動は、赤十字会員及び赤十字活動に賛同する方々からお寄せいただく活動資金により支えられています。

赤十字の各種活動を進めるためには、より多くの方々のご理解を得て赤十字会員の増強や活動資金の安定的な確保に努める必要があります。

活動資金は、地区・分区による町内会・自治会を通じたもののほか、クレジットカードや口座振替、募金箱、寄付金付自動販売機やダイレクトメールなどにより募集しています。

■会員状況

| 種別 | 区分 | 会員数（人・法人） |
|------|-----|-----------|
| 会 員 | 個 人 | 3,966 |
| | 法 人 | 2,503 |
| 協力会員 | — | 299,554 |
| 合計 | | 306,023 |

■活動資金募集状況

| 区分 | 実績額（円） |
|-----|-------------|
| 一 般 | 392,349,132 |
| 法 人 | 52,022,843 |
| 合計 | 444,371,975 |

■地域別活動資金募集状況

| 地区・分区名 | 一般（円） | 法人（円） | 合計（円） |
|--------|-------------|------------|-------------|
| 広島市 | 59,938,111 | 662,000 | 60,600,111 |
| 呉市 | 27,346,425 | 340,000 | 27,686,425 |
| 竹原市 | 3,848,300 | 0 | 3,848,300 |
| 三原市 | 9,123,130 | 24,000 | 9,147,130 |
| 尾道市 | 16,647,189 | 2,000 | 16,649,189 |
| 福山市 | 23,686,106 | 187,073 | 23,873,179 |
| 府中市 | 3,714,144 | 1,000 | 3,715,144 |
| 三次市 | 4,669,909 | 0 | 4,669,909 |
| 庄原市 | 4,675,800 | 0 | 4,675,800 |
| 大竹市 | 3,487,150 | 0 | 3,487,150 |
| 東広島市 | 13,584,528 | 130,000 | 13,714,528 |
| 廿日市市 | 10,141,242 | 120,000 | 10,261,242 |
| 安芸高田市 | 3,861,030 | 10,000 | 3,871,030 |
| 江田島市 | 4,072,500 | 0 | 4,072,500 |
| 府中町 | 4,084,313 | 0 | 4,084,313 |
| 海田町 | 2,951,080 | 0 | 2,951,080 |
| 熊野町 | 4,076,000 | 0 | 4,076,000 |
| 坂町 | 1,762,500 | 0 | 1,762,500 |
| 安芸太田町 | 1,121,500 | 0 | 1,121,500 |
| 北広島町 | 2,613,914 | 0 | 2,613,914 |
| 大崎上島町 | 1,544,000 | 0 | 1,544,000 |
| 世羅町 | 1,782,200 | 0 | 1,782,200 |
| 神石高原町 | 1,416,500 | 0 | 1,416,500 |
| 地区・分区計 | 210,147,571 | 1,476,073 | 211,623,644 |
| 広島県支部計 | 182,201,561 | 50,546,770 | 232,748,331 |
| 合計 | 392,349,132 | 52,022,843 | 444,371,975 |

(1) 企業とのパートナーシップ

継続して活動資金をご支援いただける県内の法人等を「赤十字サポーター」として認定し、CSRや社会貢献活動におけるパートナーシップを確立しています。

※ 赤十字サポーター認定法人数は115社、寄付金付自動販売機の設置台数は105台。

■赤十字サポーター一覧

| 法人・団体名称 | |
|-------------|-------------------|
| 平成27年8月1日 | 株式会社ひろぎんホールディングス |
| 平成27年10月1日 | 株式会社もみじ銀行 |
| 平成27年12月11日 | 広島ガス株式会社 |
| 平成28年1月13日 | 広島電鉄株式会社 |
| 平成28年4月1日 | 株式会社サタケ |
| 平成28年7月1日 | ANAクラウンプラザホテル広島 |
| 平成28年7月1日 | 医療法人社団八千代会(八千代病院) |
| 平成28年7月1日 | お好みフーズ株式会社 |
| 平成28年8月1日 | 株式会社富士電子産業 |
| 平成28年8月1日 | 貴土建設有限会社 |
| 平成28年9月1日 | 株式会社八天堂 |
| 平成28年9月1日 | 株式会社廿日市クリーナー |
| 平成28年10月3日 | 学校法人鶴学園 |
| 平成28年10月1日 | 株式会社エスエス |
| 平成28年10月1日 | 株式会社ヒューマンネット |
| 平成28年11月1日 | 株式会社フカイ |
| 平成28年11月1日 | 株式会社アメニティライフ |
| 平成28年11月11日 | 広島県信用農業協同組合連合会 |
| 平成28年12月1日 | 一般社団法人広島県医師会 |
| 平成28年12月1日 | 学校法人古沢学園 |
| 平成28年12月1日 | 三菱重工コンプレッサ株式会社 |
| 平成29年1月4日 | 株式会社シンコー |
| 平成29年2月1日 | 株式会社サンポール |
| 平成29年2月1日 | 株式会社野間産業 |
| 平成29年2月1日 | 株式会社永井紙店 |

| | |
|------------------|--------------------------|
| 平成 29 年 2 月 1 日 | 中国電設工業株式会社 |
| 平成 29 年 3 月 1 日 | 株式会社メンテックワールド |
| 平成 29 年 3 月 1 日 | 公益社団法人広島県薬剤師会 |
| 平成 29 年 3 月 1 日 | 松電産業株式会社 |
| 平成 29 年 3 月 1 日 | 村上産業株式会社 |
| 平成 29 年 4 月 1 日 | 公益社団法人広島県看護協会 |
| 平成 29 年 6 月 1 日 | 株式会社リョーキ |
| 平成 29 年 8 月 1 日 | 馬場工業株式会社 |
| 平成 29 年 4 月 1 日 | 学校法人三宅学園 |
| 平成 29 年 9 月 1 日 | ミリアグループ株式会社 |
| 平成 29 年 9 月 1 日 | 株式会社サンネット |
| 平成 29 年 10 月 1 日 | 瀬戸砕石株式会社 |
| 平成 29 年 10 月 1 日 | 鯉城タクシー株式会社 |
| 平成 29 年 11 月 1 日 | 株式会社紀陽 |
| 平成 29 年 11 月 1 日 | 医療法人社団ヤマナ会(東広島記念病院) |
| 平成 29 年 12 月 1 日 | 株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 |
| 平成 29 年 12 月 1 日 | 宗教法人法瀧寺 |
| 平成 29 年 12 月 1 日 | 株式会社理舎 |
| 平成 30 年 1 月 12 日 | 公益社団法人広島県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 |
| 平成 30 年 1 月 1 日 | 株式会社フジタ広島支店 |
| 平成 30 年 2 月 1 日 | 日野株式会社 |
| 平成 30 年 2 月 27 日 | 協和鉱業株式会社 |
| 平成 30 年 2 月 1 日 | 株式会社日東リパティ |
| 平成 30 年 3 月 1 日 | 広島清流ライオンズクラブ |
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 株式会社トータテホールディングス |
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 株式会社ホロン |
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 大和重工株式会社 |
| 平成 30 年 5 月 1 日 | 株式会社ファンブ |
| 平成 30 年 6 月 1 日 | 有限会社武藤商店 |
| 平成 30 年 6 月 1 日 | 西日本三建サービス株式会社 |

| | |
|------------------|-----------------------------|
| 平成 30 年 7 月 1 日 | 西日本レジコート株式会社 |
| 平成 30 年 9 月 1 日 | 株式会社カンサイ |
| 平成 30 年 11 月 1 日 | 新中央工業株式会社 |
| 平成 30 年 12 月 1 日 | 医療法人社団まりも会（ヒロシマ平松病院） |
| 平成 30 年 12 月 1 日 | 岸工業株式会社 |
| 平成 31 年 1 月 1 日 | 株式会社クマヒラセキュリティ |
| 平成 31 年 1 月 1 日 | 株式会社サクセスロード経営研究所 |
| 平成 31 年 2 月 1 日 | 小林建設株式会社 |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 株式会社広島情報シンフォニー |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 株式会社不二ビルサービス |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 学校法人修道学園 |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 社会医療法人 祥和会(脳神経センター大田記念病院) |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 医療法人社団長寿会（はたのリハビリグループ） |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 株式会社全国赤帽（赤帽広島県軽自動車運送協同組合） |
| 令和 1 年 7 月 1 日 | 合同会社伸和 |
| 令和 1 年 7 月 1 日 | 株式会社大野石油店 |
| 令和 1 年 7 月 1 日 | 学校法人上野学園 |
| 令和 1 年 7 月 1 日 | ダイドードリンコ株式会社西日本第一営業部 広島オフィス |
| 令和 1 年 10 月 1 日 | 学校法人安田学園 |
| 令和 1 年 12 月 1 日 | 学校法人広島女学院 |
| 令和 1 年 12 月 1 日 | 広島信用金庫 |
| 令和 2 年 1 月 1 日 | 株式会社グリーンファーム |
| 令和 2 年 2 月 1 日 | 広島県民共済生活協同組合 |
| 令和 2 年 3 月 1 日 | ダイユウ技研土木株式会社 |
| 令和 2 年 3 月 1 日 | 大新土木株式会社 |
| 令和 2 年 4 月 1 日 | 株式会社熊平製作所 |
| 令和 2 年 5 月 1 日 | 株式会社ミウラ |
| 令和 2 年 7 月 1 日 | 中国遊技機商業協同組合 |
| 令和 2 年 8 月 1 日 | ティーエスアルフレッサ株式会社 |
| 令和 2 年 8 月 1 日 | 株式会社ジェイ・エム・エス |
| 令和 2 年 10 月 1 日 | 株式会社カルフト |

| | |
|-----------|-----------------|
| 令和2年10月1日 | 株式会社フレスタ |
| 令和2年10月1日 | 株式会社中国新聞社 |
| 令和2年10月1日 | 中国電力株式会社 |
| 令和2年10月1日 | 広島県遊技業協同組合 |
| 令和2年11月1日 | 株式会社仲心 |
| 令和2年11月1日 | 株式会社神原組 |
| 令和2年11月1日 | マツダスチール株式会社 |
| 令和3年1月1日 | 協同組合未来 |
| 令和3年1月1日 | 蔵田ファイリング株式会社 |
| 令和3年3月1日 | 医療法人松村循環器・外科医院 |
| 令和3年3月3日 | オール・ベネフィット株式会社 |
| 令和3年3月30日 | レックスイノベーション株式会社 |
| 令和3年5月1日 | マツダ株式会社 |
| 令和3年5月1日 | T&T タウンファーマ株式会社 |
| 令和3年9月1日 | 一般社団法人広島県歯科医師会 |
| 令和3年11月1日 | 株式会社新星工業社 |
| 令和3年12月1日 | 株式会社マリモホールディングス |
| 令和3年12月1日 | 株式会社トライサクセス |
| 令和4年2月1日 | 日本ロードテック株式会社 |
| 令和4年3月1日 | チチヤス株式会社 |
| 令和4年3月1日 | 株式会社中国ステージ |
| 令和4年7月1日 | 株式会社水みらい広島 |
| 令和4年10月1日 | 三建産業株式会社 |
| 令和4年10月1日 | 広島荷役株式会社 |
| 令和4年10月1日 | 株式会社サンコーサプライ |
| 令和4年10月1日 | 食協株式会社 |
| 令和4年11月1日 | 株式会社三建アクセス |
| 令和5年1月1日 | 巢守金属工業株式会社 |

(2) 全国赤十字大会

令和4年5月19日(木)、明治神宮会館で全国赤十字大会が開催されました。なお、新型コロナウイルスに伴い、規模を縮小して実施されました。

広島県からは奉仕団委員長等6名の代表者が参加しました。

(3) 広島県赤十字有功会

広島県赤十字有功会は、日本赤十字社広島県支部への活動資金の支援により有功章以上を受章した個人・法人で組織されており、赤十字活動への支援や会員相互の親睦を図ることを目的として、平成17年9月に発足しました。

ア 会員数 332名(個人72、法人260)

イ 役員(任期:令和2年7月～3年間)

| 役員名 | 氏名 | 現職 |
|------|--------|--------------------------|
| 会長 | 田村 興造 | 広島ガス株式会社 代表取締役会長 |
| 副会長 | 部谷 俊雄 | 株式会社ひろぎんホールディングス 代表取締役社長 |
| | 小田 宏史 | 株式会社もみじ銀行 頭取 |
| | 松本 和久 | 株式会社サタケ 代表取締役社長 |
| 常任委員 | 土肥 博雄 | 広島赤十字・原爆病院 名誉院長 |
| | 山根 以久子 | 株式会社サンポール 代表取締役会長 |
| | 池田 浩直 | 鯉城タクシー株式会社 代表取締役社長 |
| | 中嶋 栄子 | 株式会社フカイ 代表取締役 |
| 監事 | 岡田 民男 | 松電産業株式会社 代表取締役会長 |
| | 小松 節子 | 株式会社メンテックワールド 代表取締役社長 |

ウ 令和4年度広島県赤十字有功会総会の開催

7月6日(水)にANAクラウンプラザホテル広島で開催され、表彰受章者や会員など計54名が参加しました。

また、総会に先立ち「日本赤十字社有功章等伝達式」を開催し、田邊 昌彦副支部長から、感謝状を授与しました。

- 紺綬褒章/法人 1社 ●社長感謝状/個人 2人、法人 8社
- 金色有功章/個人 2人、法人 4社 ●銀色有功章/個人 2人、法人 8社



8 看護師等養成事業

日本赤十字広島看護大学は、赤十字の中国・四国ブロックにおける拠点校として、国内外の保健・医療・福祉の分野をはじめ、災害救護や国際救援、教育・研究現場等様々な場において活躍できる看護師等の養成を行っています。



日本赤十字広島看護大学

(1) 在籍状況

赤十字の人道の理念を基調とした教育と人々の命と権利を尊重することを基本とした「ヒューマンケアリング」の精神のもとに、豊かな人間性と幅広い教養を身につけた人材育成に努めています。

■ 学年別在籍状況

| 1 学年 (人) | 2 学年 (人) | 3 学年 (人) | 4 学年 (人) | 大学院 (人) | 合計 (人) |
|----------|----------|----------|----------|---------|--------|
| 136 | 130 | 129 | 131 | 33 | 559 |

(2) 進路状況

卒業後は、看護師・助産師・保健師などの国家資格を活かし、各地の赤十字病院をはじめとする医療施設や、都道府県や市町に就職し活躍しています。

■ 学部卒業生進路状況

| 卒業生 (人) | 就職 (人) | | | | 進学 (人) | その他 (人) |
|---------|----------|-----------|--------|---------|--------|---------|
| | 赤十字の医療施設 | 国公立系の医療施設 | 公的医療施設 | その他の病院等 | | |
| 130 | 61 | 15 | 37 | 13 | 2 | 2 |



基礎看護学演習



模擬患者との演習風景

9 血液事業

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、血液センターでは十分な感染予防対策や献血会場の安全性の確保対策を講じたうえで、献血協力団体等の皆さまに、献血実施の安全性及び国民の生命を支える献血の必要性についてご理解をいただけてきました。

また「新しい生活様式」を踏まえ、SNSを活用したタイムリーな広報を行うとともに献血WEB会員を募集し協力の要請や献血会場における混雑・密集回避のための献血予約の推進を行っています。

(1) 献血実績

| 200mL 献血 (人) | 400mL 献血 (人) | 成分献血 (人) | 合計 (人) |
|--------------|--------------|----------|---------|
| 1,118 | 73,884 | 42,793 | 117,795 |

(2) 供給実績

| 200mL 由来 (本) | | 400mL 由来 (本) | | 成分由来 (本) | | 合計 (本) |
|--------------|------|--------------|-------|----------|-------|---------|
| 赤血球製剤 | 血漿製剤 | 赤血球製剤 | 血漿製剤 | 血小板製剤 | 血漿製剤 | |
| 982 | 107 | 71,146 | 7,283 | 27,999 | 4,299 | 111,816 |

(3) 献血思想の普及

ア 「愛の血液助け合い運動」

毎年7月の1ヶ月間、厚生労働省・各都道府県及び日本赤十字社が主催して全国一斉に「愛の血液助け合い運動」を実施しています。

この運動の一環として、「令和4年度広島県献血推進功労者等表彰伝達式—献血感謝のつどい—」を令和4年7月26日(火)に開催し、献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した38団体と21名の個人に対し献血功労者表彰・感謝状を贈呈しました。

また、県内の中学生・高校生を対象に献血について関心を深めてもらうことを目的に献血推進ポスターを募集し、応募のあった献血推進ポスター230点の中から入選作品16点を表彰しました。



第23回広島県献血推進ポスター最優秀賞
広島県立呉商業高等学校 大成 來怜羽 さんの作品

イ 「はたちの献血」キャンペーン

1月1日から2月末日までの2ヶ月間、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民に献血への理解と協力を求めることを目的に「はたちの献血」キャンペーンを実施しました。

10 医療事業

県内には広島赤十字・原爆病院、庄原赤十字病院、三原赤十字病院の3つの赤十字病院があり、いずれも地域の中核病院としての役割を果たしています。

近年、医療事業においては医療費削減や医師不足等、取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていますが、各病院は地域の特性に応じたサービスの提供と良質な医療の提供に重点をおいた事業を展開しています。

(1) 広島赤十字・原爆病院

広島赤十字・原爆病院は、地域の中核病院として通常医療を継続しつつ、広島県や広島市などの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症への様々な対応を行いました。



広島赤十字・原爆病院

| | |
|---------------|---|
| 診療科目 (34科) | 内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科 |
|---------------|---|

| 病床数 (床) | | 職員 (人) | | | | 入院患者 (人) | | 外来患者 (人) | |
|---------|-----|--------|------|-----|-------|----------|-------|----------|---------|
| 許可 | 実働 | 医師 | 看護要員 | その他 | 計 | 延数 | 一日平均 | 延数 | 一日平均 |
| 565 | 557 | 161 | 654 | 402 | 1,217 | 178,668 | 489.5 | 331,858 | 1,365.7 |

(2) 庄原赤十字病院

庄原赤十字病院は、広島県北部の中山間地域において急性期から慢性期までの医療を担う中核病院です。へき地巡回診療や訪問診療、訪問看護などの在宅医療にも力を入れています。



庄原赤十字病院

| | |
|---------------|--|
| 診療科目 (22科) | 内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経外科、小児科、外科、透析外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、神経内科、漢方・疼痛緩和科、呼吸器内科、血液内科 |
|---------------|--|

| 病床数 (床) | | 職員 (人) | | | | 入院患者 (人) | | 外来患者 (人) | |
|---------|-----|--------|------|-----|-----|----------|-------|----------|-------|
| 許可 | 実働 | 医師 | 看護要員 | その他 | 計 | 延数 | 一日平均 | 延数 | 一日平均 |
| 300 | 298 | 37 | 232 | 134 | 403 | 73,509 | 201.4 | 114,556 | 471.4 |

(3) 三原赤十字病院

三原赤十字病院は、令和4年4月1日をもって、三菱三原病院と統合し、新しい病院として生まれ変わりました。医師の増員により歯科口腔外科を新設するとともに耳鼻咽喉科が常勤の体制となり、さらには痔核、下肢静脈瘤、睡眠時無呼吸症候群の専門外来も開始しました。また、内視鏡室は拡張し4つの内視鏡台を有する消化器センターに生まれ変わり、近隣医療機関との連携を一層深め、今まで以上に地域医療に密着した医療の提供を行いました。



三原赤十字病院

| | |
|---------------|---|
| 診療科目 (21科) | 内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、緩和ケア外科、歯科口腔外科 |
|---------------|---|

| 病床数 (床) | | 職員 (人) | | | | 入院患者 (人) | | 外来患者 (人) | |
|---------|-----|--------|------|-----|-----|----------|-------|----------|-------|
| 許可 | 実働 | 医師 | 看護要員 | その他 | 計 | 延数 | 一日平均 | 延数 | 一日平均 |
| 232 | 201 | 31 | 170 | 105 | 306 | 55,539 | 152.2 | 113,008 | 426.4 |

Ⅲ 決算状況

1 一般会計

(1) 日本赤十字社広島県支部

■歳入

| 支部収入 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|-------------|-------------|-------------|
| 社資収入 | 479,318,000 | 454,163,718 |
| 委託金等収入 | 0 | 0 |
| 補助金及び交付金収入 | 6,401,000 | 21,934,971 |
| 災害等義援金預り金収入 | 0 | 4,028,866 |
| 繰入金収入 | 28,192,000 | 32,119,705 |
| 資産収入 | 26,966,000 | 25,420,200 |
| 雑収入 | 30,369,000 | 24,934,463 |
| 前年度繰入金 | 63,310,000 | 80,444,462 |
| 合計 | 634,556,000 | 643,046,385 |

■歳出

| 支部費 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------------|-------------|-------------|
| 災害救護事業費 | 51,377,000 | 50,894,802 |
| 社会活動費 | 93,289,000 | 80,892,349 |
| 国際活動費 | 12,564,000 | 12,090,442 |
| 指定事業地方振興費 | 11,792,000 | 11,791,743 |
| 地区分区交付金支出 | 46,884,000 | 35,271,429 |
| 社業振興費 | 62,735,000 | 55,977,627 |
| 基盤整備交付金補助金支出 | 116,393,000 | 116,391,361 |
| 積立金支出 | 63,183,000 | 49,568,587 |
| 総務管理費 | 90,477,000 | 76,354,130 |
| 資産取得及び資産管理費 | 19,056,000 | 18,612,236 |
| 本社送納金支出 | 63,806,000 | 63,805,796 |
| 予備費 | 3,000,000 | — |
| 合計 | 634,556,000 | 571,650,502 |

2 医療施設特別会計

(1) 広島赤十字・原爆病院

■収益の収入

| 病院収益 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|----------|----------------|----------------|
| 医業収益 | 22,067,379,000 | 23,165,537,942 |
| 医業外収益 | 1,455,483,000 | 1,708,351,563 |
| 医療社会事業収益 | 4,140,000 | 6,848,700 |
| 付帯事業収益 | 90,737,000 | 88,631,667 |
| 特別利益 | 0 | 37,956 |
| 合計 | 23,617,739,000 | 24,969,407,828 |

■収益の支出

| 病院費用 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|----------------|----------------|
| 医業費用 | 23,986,357,000 | 23,473,495,161 |
| 医業外費用 | 216,815,000 | 212,784,210 |
| 医療奉仕費用 | 116,016,000 | 116,001,907 |
| 付帯事業費用 | 147,413,000 | 144,705,501 |
| 特別損失 | 5,438,000 | 2,918,778 |
| 法人税等 | — | — |
| 予備費 | — | — |
| 合計 | 24,472,039,000 | 23,949,905,557 |

■資本的収入

| 病院収入 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|---------|---------------|---------------|
| 固定負債 | 108,086,000 | 108,060,040 |
| 資産売却収入 | — | — |
| その他資本収入 | 1,104,268,000 | 1,030,637,742 |
| 合計 | 1,212,354,000 | 1,138,697,782 |

■資本的支出

| 病院費 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|---------------|---------------|
| 固定資産 | 368,614,000 | 295,677,616 |
| 借入金等償還 | 843,740,000 | 843,020,166 |
| 合計 | 1,212,354,000 | 1,138,697,782 |

(2) 庄原赤十字病院

■収益の収入

| 病院収益 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|----------|---------------|---------------|
| 医業収益 | 5,792,194,000 | 5,379,257,048 |
| 医業外収益 | 483,143,000 | 1,190,609,541 |
| 医療社会事業収益 | — | — |
| 付帯事業収益 | 27,400,000 | 21,584,711 |
| 特別利益 | 25,000 | 5,783,370 |
| 合計 | 6,302,762,000 | 6,597,234,670 |

■収益の支出

| 病院費用 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|---------------|---------------|
| 医業費用 | 6,613,973,000 | 6,439,416,747 |
| 医業外費用 | 48,632,000 | 37,717,193 |
| 医療奉仕費用 | 131,345,000 | 122,242,259 |
| 付帯事業費用 | 39,115,000 | 36,501,294 |
| 特別損失 | 7,041,000 | 2,863,449 |
| 法人税等 | 253,000 | △252,232 |
| 予備費 | — | — |
| 合計 | 6,840,359,000 | 6,638,488,710 |

■資本的収入

| 病院収入 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|---------|-------------|-------------|
| 固定負債 | 164,793,000 | 164,218,274 |
| 資産売却収入 | — | — |
| その他資本収入 | 643,961,000 | 508,799,452 |
| 合計 | 808,754,000 | 673,017,726 |

■資本的支出

| 病院費 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|-------------|-------------|
| 固定資産 | 533,398,000 | 398,862,222 |
| 借入金等償還 | 275,356,000 | 274,155,504 |
| 合計 | 808,754,000 | 673,017,726 |

(3) 三原赤十字病院

■収益の収入

| 病院収益 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|----------|---------------|---------------|
| 医業収益 | 3,980,920,000 | 3,897,921,971 |
| 医業外収益 | 81,925,000 | 1,594,776,850 |
| 医療社会事業収益 | 1,510,000 | 8,941,372 |
| 付帯事業収益 | 58,570,000 | 69,639,304 |
| 特別利益 | 0 | 348,558 |
| 合計 | 4,122,925,000 | 5,571,628,055 |

■収益の支出

| 病院費用 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|---------------|---------------|
| 医業費用 | 4,079,068,000 | 4,049,465,661 |
| 医業外費用 | 48,120,000 | 47,376,891 |
| 医療奉仕費用 | 107,875,000 | 107,473,465 |
| 付帯事業費用 | 71,073,000 | 70,427,026 |
| 特別損失 | 2,054,000 | 2,053,044 |
| 法人税等 | — | — |
| 予備費 | — | — |
| 合計 | 4,308,190,000 | 4,276,796,087 |

■資本的収入

| 病院収入 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|---------|-------------|-------------|
| 固定負債 | 45,181,000 | 66,083,510 |
| 資産売却収入 | — | — |
| その他資本収入 | 310,221,000 | 241,783,298 |
| 合計 | 355,402,000 | 307,866,808 |

■資本的支出

| 病院費 | 予算額 (円) | 決算額 (円) |
|--------|-------------|-------------|
| 固定資産 | 134,203,000 | 83,728,200 |
| 借入金等償還 | 221,199,000 | 224,138,608 |
| 合計 | 355,402,000 | 307,866,808 |

IV 参考資料

1 赤十字施設一覧

| 施設名 | 郵便番号 | 住所 |
|-------------------------|----------|---|
| 日本赤十字社広島県支部 | 730-0052 | 広島市中区千田町二丁目 5-64 082 (241) 8811 |
| 広島赤十字・原爆病院 | 730-8619 | 広島市中区千田町一丁目 9-6 082 (241) 3111 |
| 庄原赤十字病院 | 727-0013 | 庄原市西本町二丁目 7-10 0824 (72) 3111 |
| 三原赤十字病院 | 723-8512 | 三原市東町二丁目 7-1 0848 (64) 8111 |
| 広島県赤十字血液センター | 730-0052 | 広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1246 |
| 本通出張所 (献血ルーム「もみじ」) | 730-0035 | 広島市中区本通 6-11 明治安田生命広島本通ビル 1・2F 082 (248) 6034 |
| 紙屋町出張所 (献血ルーム「ピース」) | 730-0031 | 広島市中区紙屋町二丁目 3-20 ソシオスクエア紙屋町 4F 082 (248) 1230 |
| 福山出張所 | 721-0942 | 福山市引野町二丁目 23-26 084 (940) 5566 |
| 日本赤十字社中四国ブロック 血液センター | 730-0052 | 広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1311 |
| 日本赤十字広島看護大学 | 738-0052 | 廿日市市阿品台東 1-2 0829 (20) 2800 |

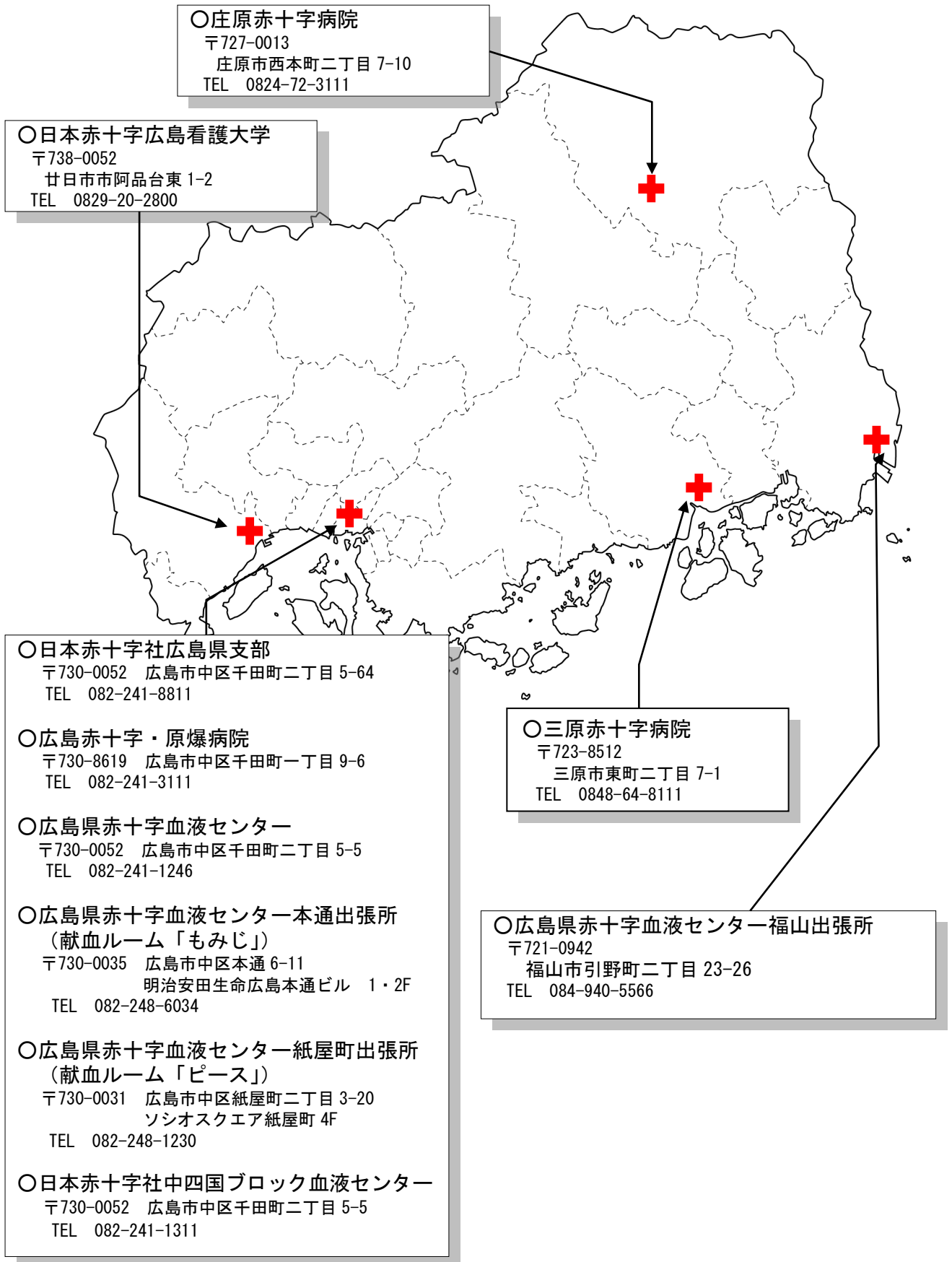
2 地区・分区一覧

| 地区・分区名 | 郵便番号 | 住所 |
|---------|----------|--|
| 広島市地区本部 | 730-8586 | 広島市中区国泰寺町一丁目 6-34 広島市健康福祉局地域共生社会推進課 |
| 中区地区 | 730-8565 | 広島市中区大手町四丁目 1-1 中区役所生活課 |
| 東区地区 | 732-8510 | 広島市東区東蟹屋町 9-34 東区役所生活課 |
| 温品分区 | 732-0033 | 広島市東区温品五丁目 1-18 東区役所温品出張所 |
| 南区地区 | 734-8523 | 広島市南区皆実町一丁目 4-46 南区役所生活課 |
| 似島分区 | 734-0017 | 広島市南区似島町字家下 752-74 南区役所似島出張所 |
| 西区地区 | 733-8535 | 広島市西区福島町二丁目 24-1 西区役所生活課 |
| 安佐南区地区 | 731-0194 | 広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課 |
| 安古市分区 | 731-0194 | 広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課 |
| 佐東分区 | 731-0103 | 広島市安佐南区緑井六丁目 29-28 安佐南区役所佐東出張所 |
| 祇園分区 | 731-0138 | 広島市安佐南区祇園二丁目 48-7 安佐南区役所祇園出張所 |
| 沼田分区 | 731-3164 | 広島市安佐南区伴東七丁目 64-8 安佐南区役所沼田出張所 |
| 安佐北区地区 | 731-0221 | 広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課 |
| 可部分区 | 731-0221 | 広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課 |
| 高陽分区 | 739-1751 | 広島市安佐北区深川五丁目 13-7 安佐北区役所高陽出張所 |
| 白木分区 | 739-1414 | 広島市安佐北区白木町秋山 2391-4 安佐北区役所白木出張所 |
| 安佐分区 | 731-1142 | 広島市安佐北区安佐町大字飯室 3052-1 安佐北区役所安佐出張所 |

| 地区・分区名 | | 郵便番号 | 住所 |
|--------|-------|----------|-----------------------------------|
| 安芸区地区 | 安芸区地区 | 736-8555 | 広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課 |
| | 船越分区 | 736-8555 | 広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課 |
| | 中野分区 | 739-0321 | 広島市安芸区中野三丁目 20-9 安芸区役所中野出張所 |
| | 矢野分区 | 736-0083 | 広島市安芸区矢野東五丁目 7-18 安芸区役所矢野出張所 |
| | 阿戸分区 | 731-4231 | 広島市安芸区阿戸町 6257-2 安芸区役所阿戸出張所 |
| | 佐伯区地区 | 731-5195 | 広島市佐伯区海老園一丁目 4-5 佐伯区役所生活課 |
| | 湯来分区 | 738-0601 | 広島市佐伯区湯来町大字和田 166 佐伯区役所湯来出張所 |
| 呉市地区 | | 737-8501 | 呉市中央四丁目 1-6 呉市市民部地域協働課 |
| 竹原市地区 | | 725-8666 | 竹原市中央五丁目 1-35 竹原市市民福祉部社会福祉課 |
| 三原市地区 | | 723-0014 | 三原市城町一丁目 2-1 三原市社会福祉協議会 |
| 尾道市地区 | | 722-8501 | 尾道市久保一丁目 15-1 尾道市福祉保健部社会福祉課 |
| 福山市地区 | | 720-8512 | 福山市三吉町南二丁目 11-22 福山市社会福祉協議会 |
| 府中市地区 | | 726-0011 | 府中市広谷町 919-3 府中市社会福祉協議会 |
| 三次市地区 | | 728-0013 | 三次市十日市東三丁目 14-1 三次市社会福祉協議会 |
| 庄原市地区 | | 727-0013 | 庄原市西本町四丁目 5-26 庄原市社会福祉協議会 |
| 大竹市地区 | | 739-0692 | 大竹市小方一丁目 11-1 大竹市健康福祉部地域介護課 |
| 東広島市地区 | | 739-8601 | 東広島市西条栄町 8-29 東広島市健康福祉部地域共生推進課 |
| 廿日市市地区 | | 738-8512 | 廿日市市新宮一丁目 13-1 廿日市市社会福祉協議会 |

| 地区・分区名 | | 郵便番号 | 住所 |
|---------|---------|----------|--------------------------------------|
| 安芸高田市地区 | | 731-0521 | 安芸高田市吉田町常友 1564-2 安芸高田市社会福祉協議会 |
| 江田島市地区 | | 737-2302 | 江田島市能美町鹿川 2060 江田島市社会福祉協議会 |
| 安芸 | 府中町分区 | 735-0023 | 安芸郡府中町浜田本町 5-25 府中町社会福祉協議会 |
| | 海田町分区 | 736-0035 | 安芸郡海田町日の出町 2-35 海田町社会福祉協議会 |
| | 熊野町分区 | 731-4214 | 安芸郡熊野町中溝一丁目 11-1 熊野町社会福祉協議会 |
| | 坂町分区 | 731-4312 | 安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目 3-19 坂町社会福祉協議会 |
| 山県 | 安芸太田町分区 | 731-3702 | 山県郡安芸太田町大字中筒賀 2802-5 安芸太田町社会福祉協議会 |
| | 北広島町分区 | 731-2104 | 山県郡北広島町大朝 2513-1 北広島町社会福祉協議会 |
| 豊田 | 大崎上島町分区 | 725-0401 | 豊田郡大崎上島町木江 5-9 大崎上島町社会福祉協議会 |
| 世羅 | 世羅町分区 | 722-1121 | 世羅郡世羅町大字西上原 426-3 世羅町社会福祉協議会 |
| 神石 | 神石高原町分区 | 720-1522 | 神石郡神石高原町小島 1748 神石高原町社会福祉協議会 |

県内の赤十字施設





〒730-0052 広島市中区千田町二丁目 5-64

TEL 082-241-8811 FAX 082-240-2741

<https://www.jrc.or.jp/chapter/hiroshima/>



@nisseki_hiroshima

@hiroshima_jrc

@redcrosshiroshima